

官報

號外 昭和七年六月十五日

○第六十二回 貴族院議事速記録第九號

帝國議會

昭和七年六月十四日(火曜日)午前十時八分開議

議事日程 第九號

昭和七年六月十四日

午前十時開議

第一 柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第二 兌換銀行券條例中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第三 日本銀行納付金法案(政府提出、衆議院送付)

第四 日本銀行參與會法案(政府提出、衆議院送付)

第五 資本逃避防止法案(政府提出、衆議院送付)

第六 昭和七年法律第一號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第七 昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第八 行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十 國債ノ償還計算ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十一 恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十二 絲價安定融資擔保生絲買收法案(政府提出、衆議院送付)

第十三 絲價安定融資擔保生絲買收法案(政府提出、衆議院送付)

第十四 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十五 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十六 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十七 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十八 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十九 造幣局資金拂出ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

北陸線鐵道金澤、東海道線鐵道大垣兩驛間鐵道速成ノ請願外二十五件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

兌換銀行券條例中改正法律案可決報告書

日本銀行參與會法案可決報告書

資本逃避防止法案可決報告書

昭和七年法律第一號中改正法律案可決報告書

昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案可決報告書

昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案可決報告書

國債ノ償還計算ニ關スル法律案可決報告書

恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案可決報告書

絲價安定融資擔保生絲買收法案可決報告書

絲價安定融資擔保生絲買收法案可決報告書

造幣局資金拂出ニ關スル法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、侯爵德川賴貞君

柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 侯爵德川 賴貞

○侯爵德川賴貞君 柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案ヲ、審議イタシマシタ特別委員會ノ經過ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ去月十日委員付託以來、翌十一日鐵道大臣ヨリ提案理由ノ説明ヲ聴取シ、爾後實情並ニ算定基礎等ニ關シマシテ質問應答ヲ重ネ、慎重審議ノ結果、昨十三日全會一致ヲ以テ原案通り可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、兌換銀行券條例中改正法律案、第三、日本銀行納付金法案第四、日本銀行參與會法案第五、資本逃避防止法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、伯爵林博太郎君

兌換銀行券條例中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

日本銀行納付金法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

日本銀行參與會法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

資本逃避防止法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

○伯爵林博太郎君 只今日程ニ上ボリマシ

タ兌換銀行券條例中改正法律案外三件ニ付

キマシテノ、特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ

御報告イタシマス、特別委員會ハ、十一日

竝ニ昨日ノ二日間慎重ニ本問題ニ付キマシ

テ審議ヲ致シマシタ、時日切迫ノ際デゴザ
イマスカラ、成ルベク簡單ニ御説明ヲ致シ
タイト思フノデアリマス、第一兌換銀行
券條例中改正法律案ニ付キマシテハ、是ハ
兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ十億圓ニ擴張
イタシマス、同時ニ制限外發行ノ制度ヲ今
迄ヨリハ緩ヤカニ致シマシテ、十五日ヲ超
エタ制限外發行ダケニ大藏大臣ノ許可ヲ要
スルコトトシテ、之ニ對スル課稅率モ現行
ノ年五分以上トアリマス、ノ年三分以上ニ
低下セシメムトスルノデアリマス、正シイ
所ノ取引ニ必要ナ通貨ノ供給ヲ圓滑ナラシ
ムル爲メ、且ツ我國産業ノ振興ヲ圖ル爲メ、金
融ノ基調ヲ作ラムトスルノデアリマス、第
二ニ、日本銀行納付金法案ハ、是ハ元來ハ
日本銀行ノ利益ハ國家カラ付與サレタ特權
ガアリマス、竝ニ特權ノ地位ニ基キテ相當
大ナルモノガアルノデアリマス、今同
ハ第一ニ兌換銀行券條例中改正法律案デ申
上ゲマシタ通りノコトニナリマス、中
利益ガ上ガッテ來マスノデアリマス、其利
益ヲ基準ト致シマシテ一定ノ部分ヲ政府ニ
納付サセルト云フコトガ適當ナコトデア
ル、即チ日本銀行ノ利益分配ヲ平衡ノ原則
ニ從ハシメマシテ、其納付額ヲ日本銀行ノ
利益ニ適應シテ、多イ時ハ多イヤウニ之ヲ
納メシムルト云フダケデナク、今回兌換銀
行券條例ガ改正サレマスル結果、只今申上ゲ
マシタ通り色ミ利益ノ増大ニナルコトデア
リマス關係上、之ヲ適當ニ調節スルト云フ
コトガ必要ニナリマス、サウ云フ意味デ是
ハ立案サレテ居ルノデアリマス、所デ一億
二千萬圓ノ發行額ガ俄ニ十億圓ニナルコト
デアリマス、尤モ之ニ付キマシテハ、今迄
デモ四億ノ正貨準備ニ對シマシテ十二億位
ノ通貨ハ常ニ過去ニ於テ存在シテ居ルノデ
アリマスカラ、元來ガ八億内外ノモノハ常
ニ流通サレテ居ルノデアリマス、ソレヲ今
同十億ニスルト云フコトハ必ズシモ一足飛
デハナイト云フヤウナ政府ノ説明ハアルノ

デアリマスルガ、兎ニ角一億二千萬圓ノガ
十億ニナッタト云フコトハ相當ニ今日ノ時
局ニ於キマシテハ、金融ノ膨脹ヲ來スモノ
ト見ナケレバナラナイト思フノデアリマ
ス、從テ之ガ運用如何ト云フコトハ重大ナ
モノデアリマス、且ツ此銀行ノ統制ヲ圖ルト
云フコトノ上カラ申シマシテモ、是ハ重要
ナコトデアルト思フノデアリマス、此金融
統制ニ資スルト共ニ、日本銀行ノ機能ヲ、我
ガ經濟界ノ現況ニ徵シテ一層發揮セシメム
トスルト云フ政府ノ説明デアリマス、第四
ニハ、資本逃避防止法案、是ハ御承知ノ如ク
我國ノ平價ガ段々下落イタシマシテ、爲替
ノ暴落ニ伴ッテ海外ニ、或ハ弗買其他ニ於キ
マシテ資本ヲ送金スルト云フ傾向ガ相當ニ
盛シニナッテ來タノヲ、之ヲ先以テ防止シナ
ケレバナラナイト云フ所ノ精神カラ起リテ
來タコトハ御承知ノ通りデアリマス、昨
年ノ英國ノ金本位離脱後ニ於キマシテ、殊
ニ此傾向ガ顯著トナッテ參リマシテ、我ガ外
債市價ノ外國ニ於ケル暴落ニ伴ッテ之ニ投
資ガ行ハレテ來マシテ、將來ニ於テモ通貨
ノ増發、其結果トシテ圓ノ價格ガ低落ガア
ルダラウト云フコトヲ見込デ、更ニ此傾
向ガ著シクナリハシナイカト云フコトヲ考
ヘラレルノデアリマス、依テ此取締ヲ嚴ニ
ナシマシテ、必要ナ我國ノ資本ヲ國外ニ失
ハナイヤウニシタイト云フ、是ハ尤モナ案
デアアルノデアリマス、斯ウ云フ工合ニ致シ
マシテ、以上ノ四ツノ改正案ト云フモノハ、
是ハ金再禁止後ノ經濟ノ狀況ニ鑑ミマシテ、
必要ナル諸對策ノ金融ノ基調ヲ作ル爲ニ必
要デアアルノデアリマス、之ニ付キマシテ質
問應答竝ニ討論ノ狀況ヲ申上ゲテ見タイノ
デアリマスルガ、其要點ダケヲ今日ハ申上
ゲテ置キタイト思フノデアリマス、兎ニ角
一億二千萬圓ガ十億ニ膨脹スルト云フコト
ニ付キマシテハ、色ミ濫用モ起ルデアリマ
セウシ、又俄ニ資本ガ流れルノデアリマス
カランテ、ソレヲ見越シテ或ハ株ヲ買フト

カ云フヤウナ投機的ノ方面ニ人心ガ走ルト
云フ俱レガアル、依テ此運用ニ付テハドウ
云フ風ナ考デアアルカト云フコトハ、是ハ成
程一番今回ノ質問ニ於キマシテ重大ナモノ
デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、桐生、
足利ノ織物業ニ於キマシテモ、又ハ各地方
ニ於ケル農村ノ疲弊ニ鑑ミテ見マシテモ、
ウツカリ資本家ガ金ヲ貸ス、銀行家ガ金ヲ貸
シテモ取レル見込ガナイ、回收ノ見込ガナ
イ、又借リル方カラ言ヒマシテモ、借リテ
米ヲ作り、或ハ借リテ織物ヲ作りマシテモ、
返ス見込ガナイト云フ有様デ實際行詰ッテ
居ルノダ、此行詰リノ時ニ際シテ唯金融バ
カリヲ付ケタ所デ、其方策宜シキヲ得ザレ
バ、其金ノ流れ出ル方面ガ或ハ投機ノ方向
ニ行クトカ、不健全ノ方向ニ行クノミデ
アッテ、一向ニ折角金融ノ基調ヲ付ケルト
云フテモ其效果ガ現ハレナイデヤナイカト
云フ質問ハ、私ハ御尤モナ質問デアルト思
フノデアリマス、特ニ大藏大臣ノ出席ヲ求
メマシテ、之ニ付テノ答辯ガアッタノデア
リマス、藏相ハ總テ金融ト云フモノハ自然
ノ調節ニ俟ツト云フノガ標準デアアル、農村
ニ於テ例ヘテ見ルナラバ、米ヲ作レバ引合
フト云フコトニナレバ、農民ハ作レタノ利
用スルコトニナル、其際ニハ金モ十億出ル
コトデアアルカラ金利モ安クナル、金利ガ安
クナレバ、低利ノ金ヲ農村ノ小作人ガ有利
ニ之ヲ借りルコトガ出來ル、又一方ニ米價
調節ノ機關モアルシ、金ガ殖エレバ、物價
ガ上ルノデアアルカラ米ガ上ル、サウスレバ
作ッテ引合フト云フコトハ、米價ノ儘ニ賣リ
マシテモ、多少農村ニ餘裕ガ出來ル、餘裕
ガ出來レバ、其金ヲ以テ購買力ニ代ヘルコ
トガ出來ルト云フヤウナ譯デ、要スルニ國
民ニ購買力ヲ付ケルト云フ方法ヲ講ズルト
云フコトガ、最も適切ナノデアルト云フヤ
ウナ意味ノ調節ニ依ッテヤラナケレバナラ
ナイト云フ答辯ガアッタノデアリマス、又日
本人ノ方面ノミカラ申シマスレバ、海外ニ

資本ノ逃避ヲ避ケルト云フコトハ出来ルカ
モ知レナイガ、外國ノ方ニ本店ヲ有スル外
國ノ店ガ日本ニ支店ヲ持テ居ル場合ニ、
是ガ逃避ヲ避ケルト云フコトハ困難デヤナ
カラウカ、ソレカラ外國ニアル日本ノ會社
ガ財政ガドウモ困難デアルカラ、資本ヲ注
ギ込マナケレバナラヌ、裏面ニ於テ外國デ
色ミナ品物ヲ買テ置キナガラ、算盤ガ合ハ
ナイカラト云フノデ、資本ヲ増資スル意味
デ以テ内地カラ送金シタ場合ニハ、ドウナ
ルト云フヤウナ質問ガアツタノデアリマス、
是ニハ矢張り領事其他ノ調査ニ依リマシ
テ、出来ルダケ監督ヲシテヤルト云フコト
デアリマス、ナカナカ困難ナ場合ガ起ルカ
モ知レナイケレドモ、出来ルダケ之ニ付テ
ハ調査ヲシテ其弊害ノナイヤウニシタイト
云フヤウナ答辯モアリマシタ、又參與會ヲ
作ル、此參與會ヲ作ルト云フト、日本銀行
ノ總裁以外ニ五人ノ參與會員ト云フモノガ
出来ル譯デアリマス、是ガ今マデノ銀行間
ニ於ケル獨立ノ行動ヲ調節シテ、而シテ
日本銀行並ニ民間ノ諸銀行トノ間ノ意思ノ
疏通ヲ圖テ行クト云フコトガ必要デアル、
ソレガ一つノ大キナ仕事デアリマスガ、又
先程申上ゲマシタ如ク、此十億ノ膨脹シタ
金融ガ弊害ノアルヤウニ向キ易イ場合ガア
ルカラ、ソレガサウ云フコトニナラナイヤ
ウニスルノガ此參與會ノ權威ノアル仕事デ
アル、然ラバ參與會員ト云フモノハドウ云
フ人間ヲ選ブノデアルカ、例ヘバ銀行ノ頭
取ト云フヤウナガ參與會ノ委員ニナルト
云フト、日本銀行ノ金利引下ゲモ直グ分レ
バ、電話ヲ掛ケテ株ヲ買フト云フヤウナコ
トガ起リハシナイカ、斯ウ云フ風ナ質問モ
アツタノデゴザイマスガ、是ニハ人格ノ崇高
ナル者ヲ選ンデ、我ガ國民ノ多數ノ中カラ
五人ヲ選ブノデアルカラ、立派ナ人ガ選バ
レル、經濟界ノ金融、經濟の方面ノ知識經
驗ニ富ンダ人ヲ選ンデヤルノデアツテ、サウ
シテ之ヲ試験的ニヤルト云フコトハ決シテ

惡イコトデハナカラウト思フ、ト云フ政府
ノ答辯デアツタノデアリマス、マア色ニ申上
ゲレバ限リハナイノデアリマスケレドモ、
此際ノコトデアリマスカラ其概況ハ此邊
デ止メテ置キマス、而シテ採決ニ移リマシ
タノデゴザイマスルガ、全會一致ヲ以テ此
四案ハ可決ニ相成リマシタ次第デゴザイマ
ス、併ナガラ之ニ付テ附帶決議ガゴザイマ
スルカラ、之ヲ讀ンデ置キマス
政府ハ本法ノ運用ニ付テ産業振興上必
要ナル金融ノ疏通ヲ圖ルト共ニ投機思惑
ヲ抑制スルコトニ違算ナキヲ望ム
即チ本案ハ極メテ重大ナモノデアリマスル
カラ、此運用ヲ誤マルト云フコトニナツタ
ナラバ、非常ナ弊害ガ經濟界ニ起ル、從テ
經濟界ニ起レバ思想界ニモ波及シマス、此
點ニ付テ十分ニ遺算ノナイヤウニ、而シテ
積極的ニ産業ガ振興スルヤウニ遺算ノナイ
ヤウニ願ヒタイト云フ決議ナンデゴザイマ
ス、尙ホ注意ト致シマシテ、例ノ十五日以
上ニ互ニタ場合ハ三分以上トナツテ居リマ
ス、從來ハ五分以上ト書イテアリマシタノ
ヲ、今回ハ三分以上ト云フコトニ低クナ
タノデアリマス、サウススルト動モスレバ三
分ニ止メルト云フヤウナ傾向ガ起リハシナ
イカト云フ噂ガ世間ニテ、成ルベク金融界
ノ實情ニ應ジマシテ、日本銀行ガ利益ノア
ツタ場合ニハ、ソレ相當ノ課稅ヲ取ルヤウニ
シテ賞ヒタイ、三分以上デアルカラ五分取
テモ八分取テモ宜イノデアル、從來ハ大抵
五分以上ヲ取テ居リタサウデアアルガ、其利
益ノ如何ニ鑑ミテ無理ニ三分ニ下ゲルト云
フコトノナイヤウニ注意ヲシテ賞ヒタイ、
政府ハ之ニ付テ全ク同意デアル、其精神デ
ヤルノデアルト云フコトヲ申サレテ居リマ
ス、尙ホ直接ニ本案ニ關係ハアリマセヌケ
レドモ、其精神カラ見テ我ミガ心配スル點
ガアルノデアリマス、今ヤ思想ニ經濟ニ國
難ガ來テ居リマス、殊ニ財政上ニ付キマ
シテハ注意ヲ怠ラナラナイ、今回ノ農民

救済等ノ事柄ハ誠ニ已ムヲ得ナイコトデア
リマス、併ナガラ政府ハ國民ノ自發的努力
ヲ促シテ、徒ニ依頼心ニ驅ラレテ政府ニ肉
薄スルコトノナイヤウニシタイモノデア
ル、此點モ十分ニ注意ヲシテ戴キタイト云
フ意見ガ出タノデアリマス、斯ウ云フ意味
ニ於キマシテ本案ハ極メテ重大ナモノデア
リマスルケレドモ、時局ノ上カラ已ムヲ得
ズ行ハナケレバナラナイコトデアアル、且ツ
是ガ農民ノ救済並ニ延イテ工業、商業ノ振
興ニ資スルコト云フヤウニシタイモノデア
ルと思フノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、
注意スル點ハ十分注意シ、質問スベキ點ハ
十分質問ヲシ、討論ヲ致シマシタ、而シテ
全會一致ヲ以テ可決ニ相成リマシタ次第デ
アリマス、此段御報告ヲ致シマス
○議長(公爵徳川家達君) 只今特別委員長
林伯爵ノ、委員會ノ經過結果ヲ報告セラレ
マシタ四案トモ、一括シテ議題トスルコト
ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス、四案トモ第二讀會ニ移シテ御異存
ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 四案ノ第二讀會
ヲ直ニ開クト云フ西大路子爵ノ動議ニ御異
存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス
○議長(公爵徳川家達君) 四案全部ヲ問題
ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセ
ヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス
○議長(公爵徳川家達君) 各案トモ第二讀
會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認
メマス
○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、昭和
七年法律第一號中改正法律案、第七、昭和
七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債
發行ニ關スル法律案第八、行政整理又ハ軍
備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付ス
ル公債發行ニ關スル法律案、第九、昭和七年
度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關ス
ル法律案、第十、國際ノ價額計算ニ關スル
法律案、第十一、恩給ノ減額補給及停止ニ
關スル法律案、第十四、造幣局資金拂出ニ
關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會ノ續、委員長ノ報告、前田特別委員
長

昭和七年法律第一號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也
昭和七年六月十三日
委員長 子爵前田 利定
貴族院議長公爵徳川家達殿
昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年六月十五日 貴族院議事速記第九號 日程第二乃至第十一、第十四ノ件

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

國債ノ償還計算ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

造幣局資金拂出ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十三日

委員長 子爵前田 利定

貴族院議長公爵徳川家達殿

○子爵前田利定君 昭和七年法律第一號中改正法律案外六件ノ審査報告ヲ、便宜上一括シテ茲ニ御報告ヲ致シマス、是等諸案ニ付キマシテハ過般切切政府委員及ビ瀧政府委員カラ、立案ノ趣旨ニ付キマシテハ詳細ニ此議場ニ於キマシテ御演述ガゴザイマシタカラ

〔副議長公爵近衛文磨君議長席ニ著ク〕
時日切迫ノ際其點ハ省略ヲ致シマス、唯皆様方ノ御記憶ヲ喚起スル爲ニ、各案ノ要領ヲ摘述イタシマシテ御參考ニ供サウト思ヒマス、第一ノ昭和七年法律第一號中改正法律案ハ、是ハ滿洲事變ノ軍事費ノ經費ヲ支辨イタシマス爲ニ、新ニ公債ヲ一億九千二百五十萬圓増額ヲ致シマシテ發行スル公債法案デアアルノデアリマス、之ニ依リマシテ昭和七年法律第一號ニ依リマシテ、豫テ協贊ヲ遂ゲテ居リマス所ノ費額ト合計イタシマスト云フト、本年ノ六月カラ來年ノ一月マデ、前後合セマシテ二億六千萬圓ノ公債發行高ニナルノデアリマス、第二ノ昭和七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、是ハ所謂赤字補填ノ公債法案デアリマシテ、歳出ノ經費ヲ支辨イタシマス爲ニ、歳入ノ缺陷ヲ補填イタシマシテ一億六千六百萬圓公債ヲ發行スル案デアリマス、第三ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案、所謂昨年ノ夏ニ退職イタシマシタル退官イタシタル、ソレ等ノ者ニ對シマスル交付公債デアリマシテ、其額ハ二千五百四十萬圓デアアルノデアリマス、其次ハ昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案、本年度ニ於キマシテ本來ナラバ七千三百萬圓餘ノ繰入ヲ爲スベキ所ヲ、二千六百八十三萬圓ダケ繰入レマシテ、其差額ノ四千七百萬圓ト云フモノヲ繰入ヲ停止スルノデアリマス、ソレガ此本案ノ要領デアリマス、次ニ國債ノ償還計算

ニ關スル法律案、所謂國債償還法案デアアルノデアリマス、商法ノ第二十六條ノ規定ニ依リマス、各銀行會社其他ニ於キマシテ、公債ノ償還ヲ財産評價スル場合ニハ、其時價ニ依ラナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、此特例ニ依リマシテ標準價格ニ依テ算定シ得ル利便ヲ與ヘタ法案デアアルノデアリマス、次ニハ恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案、是ハ退職官ヲ昨年ノ夏イタシマシタル者ニ付テノ恩給ハ、元來俸給ニ根拠ヲ置クモノデアリマスルカラ、恩給額モ減俸ニ伴フテ低クスル管デアアルノデアリマスケレドモ、昨夏ニ於ケル行政整理ノ一時的ノ措置ニ基キマシテ減俸イタシマシタ、ソレニ基ク恩給ノ減額ハ適當ノモノニアラズト云フ政府ノ見解ニ依リマシテ、其差額ハ恩給増額ヲシテ給與シタルト云フ法案デアアルノデアリマス、第一點ハソレデアリマスルガ、第二點ハ教職員ニ付キマシテ、一旦辭任ヲ致シマシテ更ニ再任ヲ致シマシタ節ニハ、新ニ貰ヒ受ケマス所ノ俸給額ガ、以前勤メタ時ノ俸給ヨリモ低イ場合ニハ、全部ノ恩給ハ停止セラレマセヌデ、其差額ダケヲ恩給額ノ中カラ補給ヲシタルト云フ立前ニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、今回ノ減俸ニ依リマシテ俸給ガ減リマシタ其差額ヲ、自然ノ法律ノ變動ニ俟チマスト云フト、他ト權衡上其宜シキヲ得ナイト云フ所カラ、ソレハ現在ノ儘ニ据置クト云フ規定デアアルノデアリマス、終リニ造幣局資金拂出ニ關スル法律案、是ハ在上海邦人ノ事業復興ヲ促進スル爲ニ、造幣局ヲ保有シテ居リマス所ノ銀地金五萬貫ヲ、金額ニ換算シマスルト五百萬圓程度ノモノヲ、低資ヲ以テ融通シヤウト云フ案デアアルノデアリマス、特別委員會ハ去ル十一月廿二日開會ヲ致シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シタルデアリマス、委員ト大藏大臣トノ間ニ、委員答辯デアリマシタ、之ニ對シマシテ質問ノ委員ハ、自分トハ意見ガ相違シテ居ルケレ

上ゲルト云フコトハ、今日ノ場合差控ヘマシテ、其主要ナリト認メタモノヲ若干此處ニ御紹介申サウト思フノデアリマス、其一ツハ一委員ヨリ政府ノ財政上ノ收支ノ均衡ヲ圖ル上ニ付テノ考ヘ如何ト云フコトデアリマシテ、國庫ノ收入ニ缺陷ガアルト云フ故ヲ以テ、他ニ何等ノ方策ヲ講ゼナイデ、赤字補填ノ爲ニ連歲、公債ヲ發行シテ行クト云フヤウナ考ヘデアアルノカ、歲計ノ收支ノ均衡ヲ圖ルニ付テハ、借金政策ノ外ニ増稅ト云フ法ガアル、又政費ノ節減ト云フ法モアル、是等ニ付テ藏相ハ考ヘガナイヤウデアアル、又夥シキ公債ヲ發行スルニ付テノ將來ニ於ケル何分ノ考ヘモ持合セガナイヤウデアアル、此點ニ付テノ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ハ固ヨリ赤字補填ノ公債ノ如キモノヲ、繰返スト云フコトハ望ミシカラヌコトデアアル、併ナガラ今日ノ場合之ヲ増稅ノ方面ニ漁ルト云フコトハ實際上不適當ト考ヘル、所謂地方ニ於ケル豪家ト申スベキヤウナモノハ、田地田畑山林等ヲ多ク保有シテ居ルモノデアアル、ソレ等ノ者ガ今日ソレ等ノ澤山ナル田地田畑山林ヲ持ツガ故ニ、非常ニ生計ニ困難ヲ感ジテ居ル次第デアアル、左様ナ場合ニ之ヲ直接稅方面ニ漁ルト云フコトハ、時機宜シキヲ得ナイノデアラウ、國民ノ擔稅力ヲ養ヘセタ其後ニ於テコソ、増稅スルト云フコトモ出來ルト考ヘルケレドモ、今日ノ場合其時機ニ非ズト云フ考ヘデアアル、尙又政費ノ節減ニ付モテ、出來ルダケハ豫算編成ノ際ニ、査定ニ査定ヲ重ネタ次第デアアルガ、何分ニモ國家ノ進運ニ伴テ已ムニ已マレヌ施設モ新ニ生ジテ來ルヤウナ次第デアアルカラ、是レ以上ニ政費ノ節減ト云フモノモ圖ラレ得ナイノデアアル、要ハ國家ノ産業ヲ振興シテ民力ヲ涵養シテ、而シテ後ニ堅實ナル方策ヲ講ズルヨリ外ニ途ハナイト信ズルノデアアルト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、之ニ對シマシテ質問ノ委員ハ、自分トハ意見ガ相違シテ居ルケレ

ニ關スル法律案、所謂國債償還法案デアアルノデアリマス、商法ノ第二十六條ノ規定ニ依リマス、各銀行會社其他ニ於キマシテ、公債ノ償還ヲ財産評價スル場合ニハ、其時價ニ依ラナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、此特例ニ依リマシテ標準價格ニ依テ算定シ得ル利便ヲ與ヘタ法案デアアルノデアリマス、次ニハ恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案、是ハ退職官ヲ昨年ノ夏イタシマシタル者ニ付テノ恩給ハ、元來俸給ニ根拠ヲ置クモノデアリマスルカラ、恩給額モ減俸ニ伴フテ低クスル管デアアルノデアリマスケレドモ、昨夏ニ於ケル行政整理ノ一時

的ノ措置ニ基キマシテ減俸イタシマシタ、ソレニ基ク恩給ノ減額ハ適當ノモノニアラズト云フ政府ノ見解ニ依リマシテ、其差額ハ恩給増額ヲシテ給與シタルト云フ法案デアアルノデアリマス、第一點ハソレデアリマスルガ、第二點ハ教職員ニ付キマシテ、一旦辭任ヲ致シマシテ更ニ再任ヲ致シマシタ節ニハ、新ニ貰ヒ受ケマス所ノ俸給額ガ、以前勤メタ時ノ俸給ヨリモ低イ場合ニハ、全部ノ恩給ハ停止セラレマセヌデ、其差額ダケヲ恩給額ノ中カラ補給ヲシタルト云フ立前ニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、今回ノ減俸ニ依リマシテ俸給ガ減リマシタ其差額ヲ、自然ノ法律ノ變動ニ俟チマスト云フト、他ト權衡上其宜シキヲ得ナイト云フ所カラ、ソレハ現在ノ儘ニ据置クト云フ規定デアアルノデアリマス、終リニ造幣局資金拂出ニ關スル法律案、是ハ在上海邦人ノ事業復興ヲ促進スル爲ニ、造幣局ヲ保有シテ居リマス所ノ銀地金五萬貫ヲ、金額ニ換算シマスルト五百萬圓程度ノモノヲ、低資ヲ以テ融通シヤウト云フ案デアアルノデアリマス、特別委員會ハ去ル十一月廿二日開會ヲ致シマシテ、慎重ニ審議ヲ致シタルデアリマス、委員ト大藏大臣トノ間ニ、委員答辯デアリマシタ、之ニ對シマシテ質問ノ委員ハ、自分トハ意見ガ相違シテ居ルケレ

案ノ要領デアリマス、次ニ國債ノ償還計算

ドモ、併シ藏相ノ説明ニ付テハ了解イタシ
タト云フコトデアリマシタ、尙又減債基金
ノ一部繰入レ停止ニ付テ、同委員ハ再ビ質
問シテ申サレルニハ、一方ニ巨額ノ公債ヲ
發行スル、其場合ニ僅ニ四千七百萬圓ホド
ノ繰入ヲ停止シテ見タ所デ何等ノ效果ガア
ルモノデハナイ

(議長公爵德川家達君議長席ニ復ス)

寧ロ成立シテ居ル所ノ法律ノ精神ヲ尊重シ
テ繰入レベキモノハ繰入レ必要ナル公債
ハ之ヲ起債スルト云フ風ニ致サレタ方ガ公
債ノ信用ヲ保チ、國家ノ信用ヲ保ツ上ニ於
テ……其方ガ宜クハアルマイカトノ質問ガ
アタノニ對シマシテ、大藏大臣ハ繰入ルベ
キ金額ヲ減少シテ、ソレダケ新ニ起債ス
ル所ノ公債額ノ高ヲ低メルト云フコトハ自
分トシテハ適當ナル措置デアルト思フノデ
アル、ソレデコソ公債ノ信用ヲ保ツ所以ノ
モノデアルト自分ハ考ヘテ居ルノデアルト
云フ御答辯デアリマシテ之ニ對シマシテモ
質問委員ハ自分ノ意見ト相違ヲシテ居ルト
云フコトヲ申サレマシタガ、質問ヲ打切り
ニセラレタノデアリマス、尙ホ此際特ニ皆
様ノ御聽キニ達シテ置キタイト思ヒマス
コトハ、委員外ノ或一議員ガ此委員會ニ參
ラレマシテ、國債ノ價格算定ニ關スル法律
案ニ付テ政府ノ所見ヲ尋ネタイト思フカラ、
質問ヲ許シテ貰ヒタイト云フ御請求ガアリ
マシテ、委員長ハ特別委員會ニ諮リマシテ
御許シヲ致シタノデアリマスルガ、此一議
員ノ御質問ハ、此法律案ハ商法第二十六條
ノ所謂國債ノ財產價值ヲ評定スル規定ノ特
例デアル、故ニ此特例ヲ設クル上ニ於キマ
シテハ、十分ニ慎重ニ考慮ヲ重ネタイトデシ
ナケレバナラヌコトデアラウト思フコト云フ
コトヲ先ヅ以テ前提トサレマシテ、進ンデ
政府ノ行政上ノ監督ノ屈ク所ノ銀行會社、
澤山ナル國債ヲ保有シテ居ル所ノ銀行トカ
生命保險會社ノ如キ政府ノ監督ノ手ノ屈ク
モノニ付テハ、此特例ヲ適用シテデモ尙ホ

監督官ニ依テ無法ナル所ノ、無理ナル所
ノ決算ヲ議定スルコトモアルマイト思フケ
レドモ、政府ノ眼ノ届カザル所ノ一般會社
ニ於テ、此特例ヲ惡用シテ本來ナラバ時價
ニ換算スレバ、到底利益ヲ生ミ出シ得ナイ
決算デアルニ拘ラズ、偶、此特例ヲ援用ヲ
シテサウシテ利益金ヲ計上シ、世ニ所謂
蝸配當ヲ爲スガ如キコトガアタナラバ、債
權者保護ノ上ニ大ナル遺憾ガ生ズル次第デ
アル、此點ニ付テハ政府ハ如何ナル考ヲ有
タレカ、元來ナラバ此法律ニ相當修正ヲ
加フベキノガ適當ト思フケレドモ、ソレハ
致サナイトシテモ、勅令ヲ以テ此特例ヲ行
使スル所ノ範圍ヲ限定スルノ要ガアルデハ
アルマイカト云フ質問ニ對シマシテ、政府
委員ハ銀行保險會社等ノ、政府ノ行政上ノ
監督ノ及バナイヤウナ方面ノ一般會社ニ於
テ、此特例ヲ適用スルガ故ニ、惡弊ヲ生ズ
ルト云フヤウナ會社ハ先ヅアルマイト思
フ、第一ソレ等ノ會社ニ於テハ國債ヲ多額
ニ保有スルト云フコトモ先ヅ稀ノコトデア
ルト思フカラ、左様ナ處ハナカラウト思フ、
又政府ニ於テモ此特例ヲ濫用スルト云フコ
トニ付テハ、十分ニ是ハ抑制、抑止シナケ
レバナラヌト考ヘテ居ルト云フ答辯デアリ
マシタガ、質問議員ハ更ニ追究サレマシテ、
政府ガ此特例ヲ濫用スルコトニ付テノ抑制
ヲ爲サルト云フケレドモ、ソレハ如何ナル
法律ノ根據ニ基キテ爲サルノデアルカ、苟モ
左様ナ制限ノ規定ガナイ限リニ於テハ、左
様ナ會社ニ於テハ自由ニ此特例ヲ援用スル
ト云フコトハ毫末モ差支ナイコトデアデ、
而シテ危險ハ其處ニ胚胎スルノデハナイカ
ト云フ質疑ヲ重ネラレマシタ、政府委員ニ
於キマシテハ、ソレニ對シテ數回ニ互ニ應
答ヲササレマシタケレドモ、我々特別委員
會ニ出席サレタル委員諸君ニ於カレマシテ
ハ、委員長ト同様ニ痒イ所ニ手ノ届カナイヤ
ウナ節ガアタカノヤウニ考ヘラレタノデ
アリマス、故ニ午後ノ會ノ劈頭ニ大藏大臣

ニ御出ヲ請ヒマシテ、其時ニハ此質問議員
ハ此席上ニハ居ラレマセヌデアリマシタケ
レドモ、同様ナル趣旨ヲ、皆サンノ御許ヲ
得マシテ委員長カラ御傳ヲシテ、之ニ對ス
ル答辯ヲ求メタノデアリマス、大藏大臣モ
政府委員ノ説明ト略、同様デアリマシテ、
實際ニ之ヲ運用ノ上ニ於テ、一般會社ガ國
債ヲ多額ニ保有シテ居、ソレヲ惡用スル
ト云フヤウナ弊ノ生ズルコトハナイト考
ヘルシ、又ソレニハ監査役ト云フ機關モア
ルシ、又株主ノ眼モ光テ居ルコトデアルカ
ラシテ、左様ナ欺瞞ノ行爲ヲシテモ、ソレ
ハ其真相ハ直キニ看破サレル次第デアアル
カラ、左様ナ心配ハアルマイ、而シテ一面
ニ於テハ、澤山ニ國債ヲ保有シテ居ル所ノ
銀行會社ニ於テハ、此特例ニ依テ安心シテ
國債ヲ多額ニ保有スルコトモ出來、從テ國
債ノ信用、國債ノ價額ヲ維持スルコトモ出
來テ、國債ガ他ノ有價證券ノ如クニ投機
ニ賣買ヲ頻繁ニ繰返サレルト云フヤウナコ
トモナクナツテ、國債トシテノ價額ノ安定ヲ保
ツ次第デアアルノデアアルカラ、先ヅ其弊ハ
アルマイト云フコトデアリマシタ、尙ホ申
落シマシタケレドモ其質問議員ノ申サレマ
シタ第二ノ質問ハ、茲ニ破産ニ頻セムトス
ル所ノ會社ガアルトシテ、其會社ノ有テ居
ル所ノ國債ノ價額ノ算定ノ如何ニ依テハ、
當然ニ破産ニナラナケレバナラナイ會社
ガ、此特例ニ依リ……特例ノ御蔭ニ依テ、
之ヲ算定スルト云フト破産シナイノミナラ
ズ、或場合ニハ利益モ生ズルト云フヤウナコ
トガナイトモ言ヘナイ、左様ナ場合ニ於テ
ハ、會社ニ對スル債權者ノ保護ノ上ニ於テ
甚ダ遺憾ナコトデアアル、思フニ政府ハ一面
ニ多額ノ國債ヲ保有スル所ノ銀行會社ニ對
シテ、此特例ヲ布クコトニ急ニシテ、斯カ
ル方面ニ對スル所ノ注意ガ缺ケテ居、タノ
デハアルマイカ、ト云フヤウナ質問ヲ御傳
ヲシテ、大藏大臣ノ御答ヲ請フタノデアリマ
スガ、大藏大臣ハ、左様ナコトハ先ヅ無イ

デアラウト云フ御答辯デアリマシタ、而シ
テ質問ハ打切りニナリマシテ、討議ニ入り
マシタガ、別段ニ付テハ各案ニ付キマシテ
意見モ出マセヌデ、各案トモ全會一致ヲ以
テ可決ニ相成、タ次第デアリマス、但シ國
債……減債基金ノ繰入一部停止ノ法律案ニ
付キマシテハ、或一委員ハ、元來ハ自分
ノ意見ト相違ヲシテ居ルノデアアルケレド
モ、此際ハ別ニソレニ對シテ異議ハ言ハナ
イト云フコトヲ申サレマシテ、所謂消極的
贊成ノ意ヲ示サレタ次第デアタノデアリ
マス、以上ヲ以テマシテ各案ノ審査ノ要領
ヲ御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 只今前田子爵ガ
特別委員長トシテ報告セラレマシタ日程第
六、第七、第八、第九、第十、第十一、第
十四ノ法案ノ中、諸君ニ於テ御異議ガナケ
レバ、日程第六ヨリ第十一マデ一括シテ議
題ト致シマス、各案ノ第二讀會ヲ開クコト
ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 贊成
○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(公爵德川家達君) 各案全部ヲ問題
ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセ
ヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 各案トモ第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際議事日程變更ノコトヲ御諮リ致シマス、日程第十四ハ、只今前田特別委員長ヨリ報告セラレマシタカラ、日程第十二ノ前ニ繰上ゲタイト考ヘマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四ノ法律案ノ、第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、絲價安定融資擔保生絲買收法案、第十三、絲價安定融資損失善後處理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、小松謙次郎君

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十四ノ法律案ノ、第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

二案ハ世ニ所謂滞貨生絲ノ處分並ニ善後策デアリマス、昭和四年以來ノ我蠶絲業界ニ於ケル問題ヲ解決セムトスルモノデアリマス、滞貨生絲ハ昭和四年ノ紐育ニ於ケル不況ニ起因イタシマシテ、其當時價格格千二百五十圓ヲ維持スルコトガ出來ナクナリマシタ爲ニ、同五年ノ三月絲價安定融資補償法案ナルモノヲ設ケラレマシテ、三千万圓程度ニ於テ前期、千二百五十圓ト絲價ノ相違ヲ政府ニ於テ補償ヲ致シタノデアリマス、然ルニ其補償ノ總額ハ三千万圓ト限定セラレマシタノデアリマスガ、絲價ノ狀況ハ漸次低落ヲ致シマシテ、其補償總額三千万圓ニ達シマシテモ、尙ホ此絲價ガ維持ヲスルコトガ出來ヌ状態ニナリマシタノデアリマス、次イデ生絲ヲ有スル各會社ハ共同保管制度ヲ起シマシテ、之ヲ數箇月ニ分割シテ賣却ヲスル案ヲ立テマシタガ、此案モ遂ニ遂行スルコトガ出來ズニ終リマシタ、近來ニ至リマシテ、之ヲ一定シテ賣却ヲスル案ヲ立テ共同管理ノ代理者タル正金銀行ト旭「シルク」トノ間ニ賣買ノ契約ヲ成立シタノデアリマスルガ、僅ニ其一部分ヲ引取リマシタノミニシテ絲價ガ更に低落ヲ致シタガ爲ニ、遂ニ解約ノ已ムナキニ至リマシタノデアリマス、茲ニ於テ若シ銀行ガ其擔保ニ取リマシタル所ノ生絲ヲ賣却スルヤウナコトニナリマスルト、我蠶絲業ニハ非常ナ結果ヲ惹起スノデアリマス、恰モ此春絲ノ出廻リマス今日ニ於キマシテ、此儘ニ到底放任スルコトガ出來ナイト云フノガ本日ノ此上程ニナリマシタル二案デアアルノデアリマス、此案ニ依リマスルト補償生絲七千四百四十一荷口、ソレカラ共同保管ノ生絲ニ屬スルモノガ二千三百九十荷口デアリマシテ此合計九千八百三十一荷口、單價四百五十圓二十五錢ヲ以テ買收ヲ致スト云フノガ大體ノ骨子デアリマス、其結果損失ノ分擔ト云フモノガ、製絲業者ノ負擔額ガ三千八百五十萬圓銀行ガ是マデ貸付ケマシタル利子

其他倉敷等ヲ合セテ其負擔額ガ八百八十二萬八千六百圓、政府ノ負擔額ガ四千五百三十八萬二千九百六十八圓ト云フコトニ相成リマスノデアリマス、尙ホ其外ニ銀行ハ買上後ニ於ケル生絲ノ保管料、十箇年間ニ約二百五十萬圓、此買收ヲ五箇年間ニ公債ヲ以テ支拂フ、此買收代金ノ無利子ガ約六百萬圓、前ニ述ベマシタ當業者負擔額ノ三千八百五十萬圓ノ無利子十一箇年賦ノ償還ニ依リ利子負擔額ガ千二百五十萬圓、總計二千五百萬圓ト云フモノガ尙ホ負擔スル割合ニ相成テ居ルノデアリマス、此問題ハ多年一萬荷口程ノモノガ存在シテ居リマスルガ爲ニ、終ニ市價ヲ牽制ヲ致シテ、サウシテ年々ノ生絲ノ賣買ニ對シテ非常ナ是ハ壓迫ヲ加ヘルモノデアアルノデアリマス、或モノハ之ヲ燒却スルガ宜シト云フ論サハ立テタモノガアルノデアリマスルガ、此度ノ案ニ依リマスルト政府ハ公債ヲ以テ此生絲ヲ買入レマシテ、サウシテ其儘銀行ニ保管ヲサセテ、サウシテ之ヲ市場ヘ出サスト云フコトノ條件デ買受ケラ致シタノデアリマス、從テ此生絲ノ處分ト云フモノハ一般市場ニハ出ナイコトニナリテ居ルノデアリマス、斯様ナコトデ總テガ負擔ヲ致シテ、サウシテ此餘計ナ生絲ヲ漸次消却ヲ致シテ、サウシテ此上ニ付キマシテモ特ニ年限ヲ定メズ、法律ノ規定ニ基キマシテ、市場ニ出デザルヤウナ方法ヲ以テ之ヲ處分スルコトニ相成テ居ルノデアリマス、即チ新規ノ用途ヲ考ヘ、又ハ新規ノ販路ニ向ケテ之ヲ處分スル、其處分ニ當テハ委員ニ相談ヲシテ、サウシテ其販路ナリ、用途ナリヲ定メルコトニ相成テ居リマス、試ミ其新規ノ用途ハ如何ナルモノデアアルカト申シマス云フト、豫テ御承知ノ如ク洋服ニ使ヒマス、或ハ又國旗ニ使ヒマス、總テ此市場ニ今マデナカタ方面ニ之ヲ使テ、生絲トシテノ競争ヲ成ルベ

ク避ケルコトニシタイト云フ考デアサウ
デアリマス、又新規ノ販路ト如何ナルモ
ノデアアルカト申スト、是ハ「ブラジル」デア
リマストカ、「メキシコ」デアリマストカ、
是迄取引ヲ致サヌ分野ニ於テ此取引ヲスル
ヤウナコトガアレバ、此方ニ向テ十分調査
ヲシテ之ヲ執行フ、斯ウ云フヤウナコトデ
アルサウデアリマス、從テ此生絲ハ今ノ如
キ處分ガ出來ナイ限リハ殆ド市場ニハ出ナ
イノデアリマシテ、將來ノ生絲ノ生産ニ付
テハ何等ノ壓迫ヲ加フルコトガナキニ至リ
マシタ譯デアリマス、ソレカラ第二ニ申上
ゲテ置キタイト思フコトハ、斯様ナコトヲ
スルヤウニナリマシタノモ、詰リ生絲ノ需
給ノ關係ガ十分是迄統制ヲサレテ居ラヌ結
果デ、斯ウ云フコトニナリ得タノデアアル、

若シ今日ノ儘ニ於テ、其儘ニ放任シテ居
ナラバ、恐ラクハ又再ビ同様な問題ヲ起ス
コトガナイデハナカラウカ、斯ウ云フ懸念
ガアリマスト、委員ノ大部分ノ質問ナリ
若クハ希望ナリハ總テ懸テ此點ニ屬シタ
ノデアリマス、之ニ付キマシテハ、政府モ
特ニ此點ニ付テハ留意ヲサレテ居ラヌデア
リマス、併シ中ニ此點ヲ統制ト云フコ
トハ頗ル困難デアテ、政府ノ方針ダケデハ
到底ハ行ハレナイコトデアアル、併ナラガ
今日ノ此事態ニ鑑ミテ、何レモ自覺發奮シ
テ將來再ビ斯様ナコトニセヌヤウニ、成ル
ベク自制ヲスルヤウニ取計ヒタイト思フ、
政府モ亦人造絹絲其他今日生絲ニ對スル種
種ノ難問ガアリマスト、是等ニ對シテモ
相當考慮ヲ費シタル上、近キ將來ニ於テ相
當對策ヲ講ジテ之ニ當ル積リデアアル、尙ホ
又其對策ヲ致ス上ニ付テハ、當業者ノ十分
自覺發奮ヲ希望スル次第デアルト云フヤウ
ナ答辯デアリマシタ、此蠶絲業統制ノ問題
ニ付キマシテハ特ニ意ヲ致シテ、何レ早晚
此點ニ付テハ或ハ御披露ヲシ得ル時期モア
ルダラウト云フヤウナ答辯ノコトデアリマ
シタ、其他詳細ノ事柄ハ大體速記ナドニア

リマスト、特ニ報告ハ致シマセヌノデア
リマス、右申上ゲマシタ事柄ガ本案審議ニ
於ケル一番ノ大キイ問題デアリマストカ
ラ、特ニ其コトヲ御報告ヲ致シテ置キマス、
兩案ノ報告ハ大體是デ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ第二讀
會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案全部ヲ問題
ニ供シマス、全部原案ニ御異議ゴザイマセ
ヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案共第二讀會
ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵德川家達君) 是デ本日ノ日程
ヲ終リマシタガ、豫算案其他特別委員ヨリ

報告ガ午後ニアラウト考ヘマスカラ、午後
二時マデ休憩イタシマシテ、午後二時ニ御
集リヲ願フコトニ致シマス
午前十一時十五分休憩

午後二時十八分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲ
シテ報告ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第一
號)、

昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追加
案(特第一號)、

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會
議ヲ開キマス、只今書記官ヲシテ報告ヲ致
サセマシタ昭和七年度歳入歳出總豫算追加
案、第一號、昭和七年度各特別會計歳入歳
出豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔
トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、三案ヲ
此際議事日程ヲ追加シテ行キタイト存ジマ
ス、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス、委員長報告、柳澤豫算委員長

一昭和七年度歳入歳出總豫算追加案(第
一號)

一昭和七年度各特別會計歳入歳出豫算追
加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲
スヲ要スル件

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總
テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也
昭和七年六月十四日

委員長 伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕
○伯爵柳澤保惠君 是ヨリ豫算委員會ニ於
キマスル議事ノ經過竝ニ結果ヲ申上ゲタイ
ト存ジマス、此度ノ追加豫算ハ御承知ノ如
クニ各省ニ跨リテ居リマス、併ナガラ時日切
迫ノ爲ニ分科ニ移サズシテ、委員會ニ於テ
議事ヲ進行スルコトニ相成リマシタ、秘密
會ハ二度開キマシタ、追加豫算ノ説明ハ先
日大藏大臣ガ本議場ニ於カレマシテ最モ詳
細ヲ極メテ御演説ニナリマシタノデ、私ハ
其邊ヲ一切省略イタシマス、直ニ質疑應答
ノ主ナル部分ノ大要ヲ一括歸納イタシマシ
テ御報告申上ゲマス、此豫算ハ御承知ノ如
クニ各省ニ跨リマシテ、何レモ緊急ヲ要ス
ル事項ニ相違ナイノデゴザイマス、併ナガ
ラ能ク内容ヲ見マスト、果シテ何レモガ
皆緊急事項ニ該當スルヤ否ヤ、多少疑ガナ
イコトモゴザイマセヌ、相當議論ノ餘地ア
リト存ジマスガ、此點ニ關シテハ餘リ論議
ハナカッタノデゴザイマス、論議ノ焦點ハ事
局ニ密接ノ關係ノゴザイマス事項ニ限ッテ
居リマシテ、此點ニ付テ多クノ質疑應答ガ
アッタノデゴザイマス、今質疑セラレマシタ
事項ヲ分類イタシテ見マスト、對外事項
ト對內事項ニ分レマス、對外ノ分ハ僅ニ對
支問題ダケデアリマシテ、他ノ外國ニ對ス
ル分ハ一ツモゴザイマセヌ、對內ノ分ハ先
ヅ大約五ツニ分レテ居リマス、對內ノ第
一ハ財政及經濟問題、其次ガ農村救濟問題、
其次ガ教育問題、其次ガ神社及宗教問題、
次ニ保健衛生問題、先ヅ斯様ニ分レルヤウ
ニ存ジマス、先ヅ對外問題ヨリ申上ゲタイ
ト存ジマス、對外問題、即チ今回ニ於キマ
シテハ對支問題デアリマスルガ、對支問題
ノ大部分ハ滿洲問題デゴザイマス、第一ニ
申上ゲタイノハ滿洲事件ニ要シマスル經費
ト滿洲國承認問題ノ件デゴザイマス、豫算
ヲ御覽ニナリマスト、御承知ノ如クニ外務
省ニ於キマシテ五百五十萬圓、大藏省ノ此
件ニ關スル豫備金ガ二千萬圓、陸軍ガ一億

一千七百萬圓、海軍三千九百萬圓、關東廳方二百六十五萬圓、是ハ大數デ申上ゲタノデゴザイマス、合計一億九千萬圓、二億ニ近イ金デアリマシテ、此中陸軍ニ要スル金ガ二割強ニ當リマス、斯様ナ巨額ノ支出ヲスルハ、是ハ滿洲國承認ノ爲ノ前提ト云フ譯デハナイノデアリマスルケレドモ、滿洲國ノ承認問題ニ關シマシテハ、政府ハ速ニ出來得ルダケ實行ノ考デゴザイマス、唯是ニハ相當準備ノ期間ガ要リマスノデ、準備ノ期間完了次第其運ビニナスト云フコトデゴザイマス、而シテ又此九月ニ於キマスル所ノ國際聯盟總會ニ對シマスル政府ノ態度ハ、マダ十分ニ確定的ニ申上ゲルコトハ出來ナイノデゴザイマス、對支問題ノ第二ト致シマシテ、矢張り滿洲問題デアリマスルガ、移民問題、産業調査、資源調査ナドノ問題ガゴザイマス、滿蒙ニ於ケル移民殊ニ農業移民ニ適セル地方ノ調査ニ付キマシテハ、是マデモ政府ニ於テ相當御調査ガア、タノデアリマスルガ、併シ完全ト申スベキ所ノ基礎調査ハ缺ケテ居、タノデアリマス、故ニ差當リ治安ノ維持セラレマシタル地方ヨリ調査ヲ始メル計畫デアリマス、豫算ハ是等ニ要スル豫算デアリマスルガ、今日マダ具體的ニドノ地方ガ移民ニ適スルヤ否ヤト云フコトヲ指示スルコトハ難イノデアリマス、デ治安維持ニ付キマシテハ外務省、拓務省ノ兩省ガ相協力イタシマシテ、各在外ノ機關ヲ通ジテ當ラシテ居ルノデゴザイマス、産業調査ニ付キマシテハ、是ハドウ云フ調査ヲスルノデアルカ、ドウ云フ程度ニスルカト云フ種類及程度ニ付キマシテハ、マダ十分ニスレテ具體的ニ申サレヌノデアリマシテ、追ミソレテ具體化スルト云

フコトデゴザイマス、資源調査ニ付キマシテハ、是ハ今マデモヤッタノデアリマスケレドモ、誠ニ是モ十分デアリマスルノデ、學術的ノ調査ノ必要ヲ認メマシテ、追ミ政府ニ於カレマシテモ何等カノ仕事ニ著手スルサウデゴザイマス、鐵ニ付キマシテ考ヘマスルト大部分ハ我國ニ入ルノデアリマス、製鐵業ノ發展ハ大イニ歡迎スル所デアリマスカラ、ソレヲ阻止スルコトハ極メテ避ケタイ考ヘデゴザイマス、今回關稅ガ高マリマセウケレドモ、滿洲ノ製鐵業ヲ保護スル方法ニ付テハ當局ハ熟慮スルサウデゴザイマス、對支問題ノ次ハ滿鐵首腦部更迭問題デアリマス、滿鐵ノ使命ノ重大ナルコトハ申スマデモナイコトデゴザイマス、ガ、兎角是マデハ政變毎ニ首腦部ノ更迭ガアリマスルガ、是ハ現政府ニ於テ望マシカラヌコトニ考ヘテ居ラレルヤウニ存ジマシタ、或ハ滿鐵ヲ民營ニシ、或ハ純然タル官營ニシ、ドチラカニ定メタガ宜カラウト云フ御論モアルノデアリマスガ、滿鐵ハ御承知ノ通り外國デ仕事ヲシテ居リマス、故ニ之ヲ利用スル者ハ大部分外國人デゴザイマス、之ヲ官營ニ移シマスルト、外交上ノ點ヨリモ亦財政上ノ點ヨリモ、政府モ隨分困ルコトガアルサウデゴザイマス、又拓殖上、經濟上、國防上、重大ナル使命ヲ有スル滿鐵デアリマスルカラ、之ヲ民營ニシマスルト、是亦政府モ困ルノデアリマス、結局滿鐵ハ其成立ノ歴史カラ致シマシテ、民間ニ移スト云フコトハ大イニ考ヘモノデアアル、結局現在ノ儘ニスル方ガ宜イヤウニ思フト云フコトデアリマシテ、首腦部ノ更迭ニ付テハ成ルベクサウナナイヤウニシテ見タイト云フヤウナ御考ヲ承、タノデアリマス、

次ハ在支我居留民ノ損害賠償問題デアリマス、戰禍ノ爲ニ損害ヲ被リマシタル我が居留民ニ對スル救済トシマシテハ、元來公平ニ考ヘマス、是ハ支那側ガ負擔スルノガ當然デアリマセウガ、中ミサウ云フ運ビニハ參リマセヌ、差當リ銀塊ノ貸付約五百萬圓程度ノモノヲ以テ、救済ノ考ヘデアルト外務省ハ申サレマシタ、又對支事業ノ恢復ニ付テモ相當ニ援助スル考ヘデアルト云フコトヲ承ハリマシタ、是デ對外問題ハ終リマス、次ハ對內問題デアリマス、第一ニ申上ゲタイノハ財政及經濟問題デアリマス、其一ツハ豫算ノ編成、公債政策、其將來ノ對策等ニ付テノ御質問ニ對スル答辯ノ大要ヲ申上ゲマス、前內閣ノ時ニ、財源ノ無イ豫算ハ其膨脹ヲシテハイカス、確ク財源ノナキ豫算ノ膨脹ヲ戒メタ其御方ハ亦現今ノ豫算デゴザイマス、同一ノ人ニシテ今回ノ豫算ヲ御編成ニナリナガラ、盛シ今度ハ財源ノナイ豫算ヲ編成サレタノデアリマス、公債ノ支辨ガ巨額ニ上ボリマシテ且ツ赤字埋合セモ公債ニ依、テ居ルノデアリマス、過去ノ事實ニ徴シマスルノニ輸出ノ均衡宜シキヲ得タ時代モゴザイマス、剩餘金ノ巨額ニ上ボッタ時代モゴザイマス、然ルニ現今ハ全ク正反對ノ時代デゴザイマス、又今日ハ滿洲事件ノ爲ニ特ニ公債ガ多イノデゴザイマスケレドモ、是等ヲ除外イタシマシテモ巨額ニ達スルノガ豫算面ニ出テ居ル通りデゴザイマス、目下政府ノ外債ハ十四億七千四百餘萬圓、地方債ガ二億三千餘萬圓、合セテ十七億餘圓ト云フモノヲ有、テ居リマス、其外民間ノ外債ヲ合セマスルト民間ノ外債ガ約八億アリマスカラ通計二十五億内外ノ外債ガゴザイマス、是ハ事實デア

リマス、貿易其他ノ國際貸借關係ヲ見マスルト、是ハ概算デゴザイマスルガ、何レモ我國ニ不利ノ狀況ニゴザイマス、又近時爲替ノ變動ニ伴ヒマシテ海外拂ハ數千萬圓以上ニ上ボッタ居リマス、是等ノ事實モ否ムコトガ出來ナイノデアリマス、又八年度ニ於キマシテモ公債ハ増ストモ減ズル見込ハナイト云フコトデゴザイマス、併ナガラ赤字ハ總テ公債ノミニ依、テ補填スルモノトノミハ當局者ハ考ヘテ居ラヌノデゴザイマス、又外債償還ニ關シマシテハ借換ノ不可能ノ分ハ正金ニシテ償還スルハ無論デゴザイマスガ、此對策トシテハ先ヅ國內産業ノ振興發展ヲ根柢トシテ居ルト云フコトデゴザイマス、例ヘテ申シマスレバ棉花及ビ羊毛ノ輸入、ソレヲ精製シテ輸出スルヤウナコトハ是亦有望ナル事業デゴザイマスケレドモ、現今何レノ國デモ自給自足ノ狀態ニ汲々トシテ居ル時デアリマシテ、我國ノ製品ノ輸出モ思フニ委セズ、生絲ノ如キモ近時ハ品質モ良好ニナリ、生産費モ安クナリマシタガ、世界的ノ不況ノ爲ニ思フヤウニナラヌノデアリマス、故ニ政府ノ外債支拂ニ對シマシテハ我國モ自給自足ノ主義ヲ執リマシテ、生産ヲ盛ンニシテ外債ヲ減ラス方法ヲ考ヘネバナラヌト云フコトデゴザイマス、國際觀光客ノ如キモ歐米ト申シマセズ我國ニ於キマシテモ、相當今マデ或意味ニ於テ引當テニナ、テ居リマシタガ、近時ハ此金額モ非常ニ減リマシタ、海運業モ亦然リ、海外放資ニ對シマスル收入モ多少ゴザイマスルガ、是モ信賴シ難イノデアリマス、移民ノ送金ノ如キモ亦近來減リマシテ移民國ニ於テソレヲ運用スルヤウニナ、テ居リマス、朝ト謂ハズ野ト謂

ハズ、此外債ニ對シテハ其引當テハ何レモ無賴ナ有様デアリマス、唯四億三千餘萬圓ノ正貨方頼ミニスルダケデ、是ハ出來ルダケ保存シタイト云フ御考デゴザイマス、併ナガラ貿易關係モイツ曙光ヲ見マスルカ將來ノ見込ハ付カナイノデ、差當リ產金獎勵ト共ニ爲替相場ヲ基ト致シテ金ノ買上ゲヲ行、テ外國ノ送金ニ充テテ居ルト云フ狀態デゴザイマス、幸ニモ我國ノ金ノ產額ハ從來ヨリ増シマシテ、是マデ約二千萬圓ト見積ラレテ居ルノガ、近年ニハ三千万圓ニ上ボ、タサウデゴザイマス、ソレ等ヲ引當テニ致シマシテ尙ホ不足ノ時ニハ、正貨準備金ニ手ヲ付ケルヤウニナリマスガ、對外信用ノ維持ハ切ニ必要デゴザイマスノデ、此信用ヲ落サヌヤウニ政府ハ努力スルト云フコトデゴザイマス、今日ノ世界的不況ハ主トシテ獨逸ノ外債不拂ニ基クコトガ餘程由來シテ居リマスガ、「モラトリウム」ヲ一箇年或ハ二箇年延バシテモ景氣ノ恢復ハ望ミ難イ、但シ國ニ依テハ正金ヲ餘リ多ク持過ギテ却テ困ル國モアラウカラ、此邊ヲ十分考慮ニ入レテ研究調査ノ必要ガアルト云フコトデゴザイマス、要スルニ將來ニ於テ信用ヲ失フコトモアルマイト云フ御考デゴザイマス、又一般國民ニ取リマシテモ財政ノ現況ヲ知悉サセルノガ必要デアリマスニ依テ、最モ適當ナル方法ヲ色々執ラレマシテ、我國現時ノ財政狀態竝ニ財政觀念ヲ國民ニ植付ケタイト云フ思召シデゴザイマス、次ハ財政ノ基礎ノ根本建直シ、財源ノ基礎ノ確立、稅制整理、官業收入ノ擴張等ノ質問ニ對スル答辯ヲ一括シテ申上ゲタイト思ヒマス、誰デモ收入ヲ増シテ支出ヲ制スルト云フコトハ誰デモ望マシイコトデ、是

ガ所謂根本ノ建直シニナル譯デアリマスケレドモ、今日其實行ハ頗ル面倒困難デゴザイマス、財政問題ト經濟問題トノ關係ハ極メテ密接デアリマスルヲ以テ、經濟界ノ實況モ十分ニ考慮スル必要ガアル、増稅ニ續イテ歳出ノ削減、是ガ實行出來マスレバ宜シウゴザイマスルガ、今日ノ狀況デハ逆モ増稅ナドハ思ヒモ寄ラヌコトデゴザイマス、故ニ中ニ財政上餘裕ヲ見ルコトハ困難ト思ヒマス、英米ノ例ヲ引カレマシタガ、英國及米國ノ狀況ト全ク本邦ノ狀態トハ同一ニ論ゼラレマセヌ、是迄モ政府ガ所得稅ノ累進ヲ圖リ地租ノ改正ナドヲ企テラレマシテ、努メテ負擔ノ公平ヲ實行セラレタル如クニ、從來ニ於キマシテモ稅制整理ニ付テハ御努力ニナタノデアリマス、併シ如何ニシテモ現時ノ情勢ハ、増稅ヲ許シマセヌ、赤字ハ増稅ヲ以テ埋合セラヌ、是ハ不可能デアリマス、又間接稅ニ付テ見マシテモ亦然リ、故ニ現今ノ政府ノ方針トシマシテハ此際主トシテ產業獎勵ノ手段ヲ執、テ國民ノ所得ヲ増シテ、然後改メテ稅制整理ヲ考慮シヤウト云フコトデゴザイマス、官業收入ノ擴張、例ヘバ酒、砂糖ノ專賣、電力國有、保險、主トシテ生命保險ノ官有ト云フヤウナ論ガゴザイマスガ、是ハ政府ハ贊成セヌト云フコトデアリマス、次ハ貿易ノ振興ノコトデス、世界的な景氣ノ折柄支那事件ガ起リマシテ、貿易ハ頗ル不況デ殊ニ輸出業者ニ取リマシテハ非常ナル苦難ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、然ルニ豫算面ニ於テハ一向貿易振興策ガ目立、テ見エナイ、貿易振興費ノ如キハ誠ニ微々タル模様デアアル、併ナガラ產業振興ニ關シマシテハ僅カナガラモ八萬圓ノ支出ヲサレ、

尙ホ將來ニ付テハ十分ニ考ヘルト云フコトデゴザイマス、輸出補償法ノ範圍擴張ノ如キコトハ今日考ヘテ居ラヌガ、今後更ニ考慮シテ見ヤウト云フコトデゴザイマス、不景氣回復ノ一段ト致シマシテ、英國ハ既ニ世界經濟會議ナルモノヲ起スコトヲ企テマシテ、亞米利加ニ之ヲ申込シテ様子デゴザイマス、此邊ニ付キマシテハ我國ニ於テモ若シ狀態ガ分リ次第、又我國ニ取テ必要ト認メレバ、進シテ參加シタイト云フ御希望ガゴザイマス、中小商工業者ノ疲弊困迫ハ、是ハ農村ニ於ケル所ノ人ミト殆ド狀態ハ變ラヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、此救済ニ付キマシテモ當局者ハ相當ニ考慮サレテ居ルノデアリマス、先ツ大體ヲ申上ゲマス、金融ノ途ヲ圓滑ニシヤウト云フコトデアリマス、ソレゾレ特殊ノ機關ノ活用ヲ十分ニ考ヘル積リデアアル、マダ成案ハナイガ若シ成案ガ出來ルトスレバ、或ハ次ノ議會ニ提出スルカモ知レヌト云フコトデゴザイマス、其次ハ燃料問題デゴザイマス、燃料問題ニ付テハ每議會質問ガ出マスシ御返辭モゴザイマスガ今度モ出マシタ、殊ニ油ノ問題ニ付キマシテハ我國ノ產額ハ極メテ少イノデアリマス、故ニ海外輸入ニ待ツコトガ頗ル多イノデアリマスルガ、一朝或事件デモ起レバ忽チ不足ヲ感ズル不安ガアリマス、其不安ヲ除去スル爲ニ國策樹立ノ必要ナキヤト云フ論ニ付テハ、政府ハ全ク同感デアリマシテ、當局ニ於キマシテハ國內ニ於キマスル石油資源ノ開發、海外ニ於ケル石油資源ノ確保、開發、代用品ノ研究關稅改正等ヲ既ニ決議セラレマシテ其實行ニ著手シテ居ラレマス、之ニ依、テ幾分カ生産額ノ増加ノ曙光ヲ見マスケレドモ、今後

一層努力シテ努メテ見タイト云フ御說デゴザイマシタ、次ニ農村疲弊救済問題ニ移リマス、農村ノ疲弊困迫其極ニ達シマスル聲ガ頗ル高ク、救済ノ必要ノ聲ハ諸方ニ現ハレテ居リマス、併ナガラソレニ付テハ當局ハ決シテ之ヲ雲煙過眼視シナイノデアリマスガ、同時ニ是ハ都市ニ於キマスル所ノ中小商工業者ノ現況ヲモ考慮シナケレバナリマセヌノデ其救済策ニ付テハ既ニ相當ノ腹案モアリマスルガ、マダ具體的ニ發表ハ出來ヌノデアリマス、併シ此事ハ農村救済問題ト申シマシテモ一般ノ政策ニモ關係スルコトデアリマスルノデ、近キ將來臨時議會ニ提案スルヤ否ヤ未定デアアル、又米價調節ノ必要上米穀法ガ公布セラレテ居リマスルガ、此效果ガ甚ダ薄イト云フ非難ガ隨分ゴザイマス、寧ロ多額ノ金ヲ出スノハ無益デハナイカト云フ論ガアリマスガ此研究竝ニ改正等ニ關シマシテハ政府ハ考慮中デゴザイマス、又肥料管理ト米穀法トハ關係ガ密接デゴザイマシテ、農家ニトリテ重大ナ問題デアリマス、是等ニ關シマシテハ種々ノ方策ガ講ゼラレテ居リマスルガ、モウ一層考究ヲ進メテ見ルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ滯貨生絲買上ゲノ件、是ハ買上ゲタモノハ諸種ノ方面ニ利用スル考ヘデアル、併ナガラ是ハ製絲業者ヲ壓迫スルガ如キ同ジ方面ニハ用ヒナイ、全クノ新方面ノミニ之ヲ使用シテ、從テ從來ノ用途ニハ使ハナイノデアアルカラシテ、此買上ゲノ結果ハ少シモ民衆ノ壓迫ニハナラヌト云フコトノ御說明デゴザイマシタ、次ニ教育ノ問題ニ移リマス、教育問題ニ付テ主ナル條項ハ初等教育輕視ノ傾向、圖畫教科書ノ不備、教育法ノ改善、映畫教育ノ

必要、生「フィルム」關稅增加ノ件、學制改革ノ件等デゴザイマス、我國ニ於キマシテハ初等教育ハ普及イタシテ居リマシテ、兒童ノ最大多數、殆ド百分ノ百ニ近イ程初等教育ヲ受ケテ居リマスノハ事實デアリマス、此教授ニハ十分力ヲ盡スベキデアリマス、兎角初等教育ヲ輕ク見ルヤウナ非難ガアル、又教育勸誘ノ精神ニ背馳スル如キ修身教育ヲ施セル非難モアリマス、殊ニ初等教育ニ於キマスル所ノ圖畫教科書ノ不備ハ、德育上ノ一大缺點デアルト云フ非難モゴザイマス、是等ノ點ニ關シマシテハ、當局者モ相當調査ガアルノデアリマセウガ、尙ホ能ク實情ヲ調ベテ非難ノ起ラナイヤウニ氣ヲ付ケテヤラウト云フコトデゴザイマス、又兒童ノ増加ニ伴ヒマシテ教育費モ増加スルノデアリマス、サウ云フコトカラシテ或ハ極端ニ小學校ヲ廢止シタラ宜イデヤナイカ、合併シタラ宜イデヤナイカ、或ハ教員ノ俸給ヲ減ラシタラ宜イデヤナイカト云フ論ガ随分出マスノデ、當局者ハ之ニ付テ餘程心配シテ何トカ案ヲ廻ラシテ居ラレルノデアリマス、ソレニ付テハ何トカ教育法ノ改善ヲ考ヘテ居ラレマスルケレドモ、小學教員ノ素質ノ低下ハ誰シモ望ム所デハゴザイマセス、兒童教育ニ惡影響ヲ與ヘマスノデ、此邊モ十分考慮スル、尙ホ貧弱村ニ對シマシテハ、教育費ハ九分通り國ノ負擔トナッテ居ル現状デアリマス、サウ云フ所ニ對シテハ殆ド義務教育費ハ殆ド全部國庫支辨ノヤウニナッテ居リマスルケレドモ、併シナガラ全部國庫ガ負擔スルト云フ如キ大問題ニ付キマシテハ、尙ホ十分研究シヤウト云フコトデゴザイマス、尙ホ義務教育費ヲ特別會計ニスルコトニ付テハ、其

希望ヲ持ッテ居ルト云フコトデゴザイマス、教員及經費ノ不足ヲ補フ爲ニ映畫教育ヲ以テ初等教育ノ補充トナスノ論モ一理アル所デゴザイマスガ、人格養成ノ上カラ見マシテ是ダケデハドウモ盡シテ居ラヌヤウデア、但シ初等教育ノ補充ニハ大ニ必要ヲ認メルガ、矢張人格アル教員ノ行動ガ兒童ニ反映スル所ニ妙味ガアル故此邊モ考ヘナケレバナラス、地方ニハソレソレ特質ヲ有スルコトデアリマスルカラ、地方地方ノ事情ヲ參酌シテ教育ノ方法ヲ變ヘルコトモ必要デアラウ、又教育映畫ニ依ル收入ニ關シテ非難ガアルノデアリマスルガ、此點モ將來考究シヤウト云フコトデゴザイマシタ、映畫ノ必要ヲ當局ハ認メテ居ルニ拘ラズ、今回生「フィルム」ノ關稅ノ激増ヲ見ムトシテ居ルノデアリマス、三割五分上ガルノデアリマス、是ハ本邦ノ映畫教育ノ發展ヲ大ニ阻止スルモノデアリマシテ、此非難ガ起リテ居リマス、ケレドモ當局者ハ輸入ノ映畫中ニハ隨分風俗壞亂ノモノモアリ、又思想惡化ノモノモアリ、故ニ之ヲ防止シテ國產映畫ノ保護ヲ必要ト認メテ居ラレルノデアリマス、是ハ當局ノ精明デアリマスルガ當局者ハ現時生「フィルム」ノ國產ガ出來ナイコトヲ御注意ニナラヌヤウニ考ヘラレルノデアリマス、生「フィルム」ハ輸入ニ俟テ初メテソレガ役ニ立ツノデアリマス、其輸入以外ニハ國產ハナイノデアリマス、此輸入ノミニ依リマシテ國產映畫モ出來マシ、教育映畫モ出來ルノデアリマス、其邊ヲ考ヘマスルト當局者ハ生「フィルム」製造ニ對スル認識不足ト言ハレテモ仕方ガナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、尙ホ映畫及圖書雜誌ニ對シマスル取締ガ近來非常ニ緩

カニナッタヤウニ見エマスルニ對シテハ、是ハ一層當局者モ心得テ注意スルト云フ方針デゴザイマス、尙ホ映畫國策樹立、映畫ニ關スル一切ノ事務ヲ取扱フベキ映畫取締機關ノ設置ニ關シマシテハ、未ダ十分研究セラレナイ模様デゴザイマス、學制改革ノ件、此改正案ニ付キマシテ歷代ノ當局者ガ常ニ努力シテ居ラレルコトハ事實デアリマセウガ、併ナガラマダ成案ガ得ラレスノデアリマス、併シ調査ノ機關モアリ、又問題モ繼續ニ調査サレテ居ルノデアリマスルカラ、追々完結スル都合デアリマス、併ナガラ是ニハ周到ナル用意ヲ要シマスノデ、現在ニ於テハ先ヅ差當リ教育ノ内容改善ニ付テ考慮デアルトノコトデゴザイマス、次ニ神社及宗教問題ニ移リマス官幣及國幣神社、約二百ホドゴザイマスルガ、其中百ニ近イ所ノ神社ノ造營ニ關シマシテハ、一社ニシテ少クトモ平均二十數萬圓ハ掛ルサウデアリマス、故ニ全體デハ約二千萬圓ホドニナリマス、今回ノ豫算ニ於キマシテ僅ニ十八萬餘圓ガ出テ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ風ナ狀態デ繼續シマスレバ、神社ノ造營ハ百五十年モ掛ルト云フコトデアリマス、斯様ナ風ニユクリトヤッテ居テ、果シテ敬神崇祖、思想善導、國體擁護ナドト云フ美風ガ助長サレカドウカ甚ダ疑ハシイノデア、曾テ本院ニ於テソレニ付テノ希望決議モアル、此問題ニ付テハ當局者ハ決シテ本院ノ希望ヲ輕ク見テ居ルノデハナイ、又敬神崇祖ニ異論ガアル筈ガナイ、神社造營ニ付テハ苦慮シ居ル、等閑シテ居ラヌガ何分御承知ノ如キ財政ノ現状デアルガ故ニ思フニ任セナイ、決シテ神社ヲ輕視スルガ如キ所ハ毛頭ナイ、今後出來ルダケ努

力シヤウト云フコトデゴザイマシタ、宗教法案ニ付キマシテハ、是ハ先年提出セラレマシタガ由來其儘ニナッテ居リマス、是ハ中解決ニ困難ナル問題デアリマスルノデ、當局者ハ十分ニ考慮シテ、提案ノコトモ考ヘヤウト云フコトデゴザイマシタ、次ハ保健衛生問題デゴザイマス、癩患者ノ取締ノコトデアリマス、近頃大都會或ハ田舎ニデモ、隨分癩患者ガ出テ居ルノデアリマス、是ガ繁華ナ地ニモ隨分出テ來マシテ、中ミ是ガ不快ノ觀念ヲ市民ニ與ヘルノデアリマス、是ハ傳染病デアリマシテ、其療養ノ爲ニ現今地方ニモ病院ガアリ、又國營ノ癩療養所モゴザイマス、其他近來増設ノ傾向モアルノデアリマス、併ナガラ斯様ナ傳染シ易イモノヲ諸方ニ曝シテ置クノハ如何ニモ國辱デアリマスノデ、此取締ヲ嚴重ニシテ貴ヒタイト云フ論議ニ對シマシテハ、當局者ハ全ク同感デ、今一層取締ニ氣ヲ付ケテ、戶外ノ癩患者ニ對シマシテモ、取締法ヲ改正スル積リデアルト云フコトデゴザイマシタ、先ヅ是デ委員會ニ於キマスル所ノ各種ノ重モナル質問應答ノ大要ヲ申上ゲタ積リデゴザイマス、無論細カイ御質問モ中ニハゴザイマシタガ、ソレハ遺憾ナガラ略シマシタ、質問ガ終リマシテ、討論ニ入りマシタ時ニ、一委員ヨリ斯様ナ意味ノコトヲ申サレマシタ、各地方ニ於ケル所ノ農民其他ノ窮乏狀態ノ悲報ハ中々多ク耳ニシ、又新聞ニモ見テ居ルトテ、其實例ヲ話サレマシタ、尙衆議院ニ於キマスル所ノ救済決議案ノ可決ニ至リマシタコトヲ述ベラレ、又首相ヨリ努力スルト云フコトヲ、衆議院ニテ面會セラレタ人ニ對スル御言明ヲ引用セラレマシタ、又本院ニ於キマシテハ農民、

中小商工業者、及び失業者救済ニ關スル希望、建議、決議ト云フヤウナコトガ度々ゴザイマシタガ、其次第ヲ述ベラレマシデ、從來ノ政府ハ極メテ無策デアルト云フコトヲ申サレテ、現政府ニ對策ヲ要求セラレマシタ、之ニ對シテ首相ヨリ答辯アラムコトヲ御請求ニナリマシタ、何レ今日中ニ首相ヨリ何等カノ御答辯アルコトト存ジテ居リマス、尙ホ一委員ヨリ贊成演説ゴザイマシタ、是ハ追加豫算ニ付テハ多少疑問モアル、併ナガラ時日切迫ノ爲ニ暫ク政府ノ説明ニ信賴シテ贊成スルノデアアル、但シ今後十分ナル行政及財政ノ整理ヲ期待シテ居ル、外ニ發言モゴザイマセズデ、第一號追加豫算、特第一號追加豫算其他一件ガ可決ニナッタノデアリマス、甚ダ杜撰ナ報告デ恐縮デゴザイマスガ、何卒委員長ノ報告通り、御贊成可決アラムコトヲ希望イタシマス

(男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム)

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ハドウ云フコトデアリマスカ

○男爵阪谷芳郎君 意見ガ述ベタイノデス
○議長(公爵徳川家達君) 通告ガゴザイマスカラ其通告者ガ濟ンデカラ願ヒタイ、阪谷男爵ノハ此豫算ニ付テ反對贊成、ドチヲ御意見デゴザイマスカ

○男爵阪谷芳郎君 贊成デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 小林嘉平治君ガ通告サレテ居リマスカラ其後デ願ヒタイ、小林嘉平治君ノ登壇ヲ望ミマス

(小林嘉平治君演壇ニ登ル)

○小林嘉平治君 私ハ貴族院議員ノ一員トシテ、殊ニ地方選出ノ議員ト致シマシテ如何ニ現内閣ヲ見テ居ルカ、又此豫算ヲ如何ニ見テ居ルカ、又院ノ内外ニ現ハレテ居ル

問題ニ付テ如何ニ見テ居ルカ、殊ニ農村問題ニ付テ現内閣ニ如何ナル要望ヲ持テ居ルカト云フコトヲ御話申上ゲルト云フコトハ、決シテ無意味デナイト思フノデアリマス、私ハ今茲ニ提案サレテ居ル豫算ニハ贊成ノ意ヲ表スモノデアリマス、而モ私ハ其内容ニ付テ決シテ満足ヲ致シテ居ルモノデハアリマセズ、其歳出ハ如何デアリマスルカ、決シテ此非常時ヲ救ヒ出ス所ノ何モト云フテハ少シ言葉ヲ過ギルカ知ラヌガ、殆ド何ヲモ見出し得ナイノデアリマス、而モ其歳入ヲ見マスト云フト是ハ確カリ非常時ニ副フタモノガ出來上テ居リマス、赤字公債ヲ一億六千萬圓カラ出シテ、サウシテ歳入ヲ填補イタシテ居ル、又軍事費其他ニ對シテ二億九千萬圓カラ公債ヲ出シテ居ル、四億九千萬圓……四億六千萬圓ニ近イ公債ニ依テ辻褄ヲ合シテ居ルノデアリマス、而モ此財源ヲ如何ニスベキカ、償還財源ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ、何等ノ考慮モ拂ハレテ居リマセズ、私共議會始テ以來斯ウ云フ亂暴ナ豫算ト云フモノハ見タコトガナイ、斯ク大ナル不安ヲ持テ居ルニモ拘ラズ、私ハ何ガ故ニ贊成スルカ、私ハ只今豫算委員長ノ仰シヤッタヤウナ簡單ナ意味デアリマセズ、組閣日尙ホ淺イ、ソナナ意味デアリマセズ、又議會召集後ニ其途中ニ出來上テ内閣デアアル、デアアルカラシテ見通シテ置ク、ソナナ意味デアアリマセズ、私ハ現内閣ニ大ナル信賴ヲ持テ居ル、現内閣ハ確カニ實力ヲ具ヘテ居ル、是ガ敢テ私ハ此豫算ニ贊成シテ居リマス所以ナシデアリマス、何ガ故ニ私共現内閣ヲ信賴スルカ、中ニハ現内閣ハ政黨ニ基礎ヲ置カナイ寄木細工デアアル、直チニ壊レルデ

アラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル人モアルヤウデアリマス、私ハ決シテ然ラズ、鐵筋混凝土ノ是ハ内閣デアアル、確カニ非常時ニ處スル耐震耐火請合ノ内閣デアアル、斯ウ云フコトヲ信ジテ居ル、何トナレバ其基礎ハ國民ニ置イテ居ル、此内閣出來上テ時ニ誰カ此内閣ヲ歡迎シナイ者ガアリマシタカ、確カニ其基礎ハ國民ニ置イテ居ル、又確カニ鐵筋デアリマス、齋藤首相始メ内閣ニ列シタ方ミハ、其才能トカ手腕トカ云フコトニ付テハ、人ニ依テ色ミ見方ガアリマセウ、兎ニ角眞面目ナ人デアアル、人格者揃ヒデアアル、決シテ私利黨略ノ爲ニ惡イコトヲスル人デヤナイ、此信賴ヲ受ケテ居ル、之ガ非常ナ力デアリマス、私ハ敢テ之ヲ鐵筋デアアル、鐵骨デアアルト稱スル所以デアアル、又「コンクリート」ガチャント打込シデアアル、決シテ現内閣ハ政黨ヲ無視スルモノデヤアリマセズ、議會政治ヲ尊重イタシテ居リマス、政民ノ二大政黨ガ「コンクリート」ニナッテ居ル、現議會ニ於テ、衆議院ニ於テ彼ノ「コンクリート」ヲ打込シテ居ル様子ヲ見ルト實ニ愉快デ堪ラナイ、現ニ現ハレテ居ル豫算案ニ付テアノ衆議院ノ光景ハ如何デアリマシタ、多少兩大政黨トノ間ニ議論ハアッタヤウデアリマス、一方ハ大ナル積極的デアアル、我黨ノ豫算ヲ踏襲シタモノデアアル、將來モ財政、經濟政策ニ向テ積極的ニ進マナケレバナラス、又一方ハ決シテ是ハ或一黨一派ノモノデヤナイ、我ミガ殘シテ置イタ其方針ヲ繼イテ來タモノデアアル、言葉ハ違ヒマスガ、其實、結論ハ同じ所ニ到達シタノデアリマス、平假名デ書クカ片假名デ書クカト云フダケノ違ヒデアアル、議會ハ言論ノ府デアリマス、十分ニ議

論ヲ練ルガ宜シイ「コンクリート」ヲ煉リ返シテ居ルヤウナモノデアアル、サウシテ兩大政黨ノミナラズ、無產黨モ雙手ヲ舉ゲテ贊成ヲ致シテ居リマス、軍事費ハ兎ニ角ト致シマシテ、此種ノ提案ニ向テハ起立議員、全會一致ト云フ議長ノ宣言ヲ下シタコトハ嘗デアリマス、私ドモ經驗デハ覺エヘガナイ、確カニ「コンクリート」ハ斯ノ如クニシテ打込マレ、又昨日ノアノ農村救済、時局對策ニ對スル所ノ決議案ニ對シテノ態度ハ如何デアリマス、兩大政黨ハ勿論ノコト無產黨モデス、之ニ贊成ヲ致シテ矢張り全會一致ノ決議ヲ見タノデアリマス、是ハ私ハ私ハ敢テ鐵筋「コンクリート」ヲ國民ノ舉國一致ノ信賴ヲ受ケタ所ノ實力ノアル丈夫ナ内閣デアアルト云フコトヲ深信スル所以デアアルノデアリマス、先刻來色ミ議事ノ取廻シノ都合モアルト云フコトデ餘リ時間ヲ長ク取ルノハ迷惑デアアルト云フコトヲ聞キマシタノデ、私ハ農村問題ニ重點ヲ置キマシテ、サウシテ私ハ自分ノ此信賴シテ居ル内閣ニ向ウテ要望スル所ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、私ハ農村ニ住ンデ居ル關係デ能ク内情ヲ承知イタシテ居リマス、今日ノ農村ノ極度ニ窮乏シテ居ル狀態モ能ク承知シテ居ル、一面ニハ又其長所モ能ク分テ居ル、色ミト研究モシ、考ヘテモ見マシタガ、所謂窓外一枝ノ梅ト云フカ、一日中梅ヲ探シテ歩キマシタガ見當ラナイ焉ゾ知ラン自分ノ家ニ歸ッテ見ルト窓前ノ梅一枝デアアル、農村ヲ救フモノハ言葉ハ古イガ勤儉ノ二字ヨリ外ニナイ、之ヲ今ノ流行リ言葉デ言ヘバ、所謂自力更生ヨリ外ニナイト云フコトヲ深信スルモノデアリマス、此自力更生ハ單ニ私ハ農村ヲ救フノミナラズ、今日ノ

日本ヲ救フモノデアルト深ク信ジテ居ル、私共今度ノ戦争ニ依リマシテ色々モノヲ得マシタ、其中デ一番私共ノ獲物ノ大キナモノハ何デアルカト云フト、私ハ日本ガ……日本國民ガ國民自身ヲ知ツト云フコトデアル、自己ヲ知ツト云フコトデアル、其自力如何ヲ知ツカト云フコトデアル、私はレ位ノ獲物ハナイト思フ、私共戦争前ニ心配シテ居タコトハ、近頃所謂左傾ノ思想ガ這入テ來タ、赤イ思想ガ瀾漫シテ來タ、日本ノ國體觀念ニ或ハ搖ギガ來テ居リヤシナイカ、斯ウ云フヤウニ深ク心配シテ居リマシタ、然ルニ戦争ニ依テ何ガ現ハレテ來マシタ、私ドモ日清日露ノ役ニモ見ルコトノ出來ナカッタ所ノアノ爆彈三勇士ガ現ハレテ來マシタ、又アノ空閑少佐ノ壯烈ナル最期ハ如何デアリマスルカ、是ハ私共ハ日清日露ノ戦役ニモ見ナカッタ事實デアルノデアリマス、斯ウ云フ力強イモノガ日本ニアル、決シテ日本ノ日本精神、大和魂ト云フモノハ失ハレテ居ナイト云フコトヲ見出シマシタ、是ハ大イナル今度ノ戦争ノ獲物デアルト思ウテ居ル、又國際聯盟デ始終十三對一デ闘フテ來タ、非常ニ私ハ日本ガ茲ニ自信力ヲ強クシ得タト感ジテ居リマス、是ハ大イナル獲物デアル、此處ニ基礎ヲ置イテ我々ハ更生シナケレバナラヌ、是ハ近頃ノ解決問題ノ一例ニ過ギヌガ、アノ滯貨生絲ノ處分問題ノ如キモ

〔副議長公爵近衛文磨君議長席ニ著ク〕確カニ私ハ自力更生ノ自覺ノ現ハレノ一デアルト思ウテ居ル、今日迄色々ノ案ヲ實行シテ見タガ、結局其内ニハ亞米利加ノ景氣モ好クナルダラウ、サウシタラ何トカナルデヤラウ、マルキリ他力デアル、今決シテ

サウ云フモノヲ相手ニシテ居テハナラナイ、茲ニ目覺メタ時ニアノ大問題ガ一週間經タヌ内ニ……此間議會デ質問シタ時ニハマダ農林大臣ハ考慮中デアルト云フモノガ、既ニソレガ貴衆兩院ニ於テ決定サレテ居ル、是ハ確カニモウ自分自ラ目覺メテ自分ノ力デ更正シナケレバナラヌト云フ閃キガ茲ニ私ハ現ハレテ來テ居ルト思フノデアリマス、又私近頃起テ居ル所ノ、前議會ニモヤカマシカッタ所ノ犬養首相ニ對スル臣節問題、又荒木陸相ニ對スル所ノ留任問題ニ付テモ私ハ自分ノ考察スル所ヲ述ベテ見タイと思フ、私ハ忘レモセヌ此境上カラ犬養首相ハ、進ンデ骸骨ヲ乞ヒ奉ルモ責任ヲ執ル一ツノ途デ、進ンデ此職ニ留マツテ再ビ斯カル過チノナイコトニ萬全ヲ盡スト云フコトモ責任ヲ取ル途デアル、自分ハ後ノモノヲ選ブノデアアル、斯ウ仰セラレマシタ荒木陸相又然リ、世間ハデス、此臣節問題ト云フコトニ付テ餘リ共鳴シナカッタ、矢張り此骸骨ヲ乞ヒ奉ルト云フコトヨリハ、退イテ其職ニ留テ、サウシテ其責任ヲ果スト云フコトガ宜イト判斷シタモノト私ハ見テ居ル、皆様御承知ノ通り首相ノアノ凶變ハ一應考ヘルト此問題ニ聯關シテ居ルカト思フガ、決シテサウデヤナカッタヤウデアル、又荒木陸相ノ今次ノ留任問題ニ付テ考ヘマスノニ、昭和ノ聖代ニ有リ得ベカラザルアノ官邸ノ凶變ハ、決シテ陸相ノ責任ナイトハ認メマセヌ、而モ其陸相ノ留任ト云フコトヲ寬大ニ認容シテ居ル現狀デアリマス、是ハ如何ニ解釋スルカ、私ハ責任ヲ取テ辭職スル、腹ヲ切ルト云フコトモ一ノ責任ヲ取ル途デアル、ソコニ更生シテ自分ノ責任ノ重大ナルモノアルコトヲ自覺シテ、所謂自

力更生ト云フコトガ私ハ此問題ヲ解釋シ得ルト思フノデアリマス、空閑少佐、乃木將軍、私ハ此途ヲ選ンダモノデアルト私ハ信ジテ居ル、此意味ニ於テ陸相ノ留任ニハ私ハ深キ敬意ヲ拂フテ居ル者デアアルノデアリマス、是ハ餘談ノヤウデアリマスルガ、農村更正ニモ此心持ガ私ハ必要デアルト思フテ居ル、如何ニモ農村ハ窮迫イタシテ居リマス、色々ノ材料ニ依テ類推シマスルト云フト、五十億内外ノ負債ヲ有テ居ルト云フコトハ事實デアル、而モ亦其半面ヲ見ルト、其半バニ近イ所ノ貯金ノアルト云フコトモ事實デアル、餘リ世間デハ言ハヌガ、斯ウ云フコトモ事實デアル、此半面ノ事實モ考ヘナケレバナラヌ、見方ニ依テハ、農村ノ今日アルハ彼等自ラガ時イタ所ノ種ヲ刈テ居ルトモ見得ル、アノ景氣ノ好イ時代ニ滿ガ十五圓モシタ、十圓以上モシタ、米ガ十五圓モシタト云フ時ニ今日アルコトヲ覺悟シテ、サウシテ勤儉節約貯蓄ヲスル方バ、決シテ今日ノヤウナ狀態ニ陥ラナカッタノデアリマス、現ニ私農村ニ於テ個々ノ事實ヲ調べルト、サウ云フ人ガ隨分アル、我々ハ今日アルベキヲ豫想シテ儉約シテ金ヲ貯ヘテ置イタ、貯金ハ斯ウ云フ時ニ利用スルモノデアルト云フコトデ、不景氣ト云フモノハ何處ヲ吹ク風デアアルカト云フ風ニ安ラケク日送りヲシテ居ル、多クハナイガ、現ニアル、此處ヲ能ク考ヘナケレバイカヌ、又今眞面目ナ農民、眞面目ナ農民ハ茲ニ目覺メテ何ヨリモ自力更生ノ途ヲ辿ラウト云フコトニ奮闘シテ居ル村モ現ニアル、兵庫縣ノ如キハ現ニデス、自力更生祭ト云フモノヲ執リ行フテ、サウシテ縣ヲ舉ゲテ一致シテ斯ク進マウト云フコトニシテ居ル、又

帝國農會ニ於キマシテ、此間各縣ノ農會長ガ寄りマシテ、矢張り農村救済ノ基調ハ自力更正ニ置カネバナラヌ、サウシテ天ハ自カラ助クル者ヲ助ク、爲政者ハ、此更正ノ覺悟アルモノヲ助長スルコトニ努メテ貰ヒタイ、斯ウ云フ決議ヲ致シテ居ル、其實行ニ取リ掛カラウトシテ居ルノデアリマス、私ハ政府ハ此處ニ基調ヲ置イテ戴キタイ、昨日衆議院デ一日、アノ決議案ノ出ルノヲ待テ様子ヲ窺テ居リマシタガ、此指導精神ニ觸レテ衆議院ノ方ニガ餘リ頭ヲ使テ居ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマシタ、兎ニ角現在國民ノ多數ヲ占メテ居ル農民ガ非常ニ窮迫シテ居ルト云フコトハ現在ノ事實デアル、今此更生ノ精神ヲ以テ自ラ新シイ運命ヲ開カウトシテ居ル、此更生ノ意氣ノアル者ニ對シテハ、出來ルダケ爲政者タル者ハ之ヲ助長スル所ノ方策ヲ執テ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、此方策ト致シマシテ、院ノ内外ニ取沙汰サレタ對策ニ借金ノ捧引ガアリマス、モラトリ「ム」ガアリマス、即時平價ノ切下ガアリマス、是ハ單ナル其方面ノ知識ノ無イ人ノ言論デアルト一笑シ去ルコトハ出來マセヌ、實際眞面目ナ農民ニモ、事ニ依ルト斯ウ云フコトガ現ハレテ來ルノデナイカト云フコトヲ期待スル人モ間ミアルノデアリマス、其聲ヲ聞クノデアリマス、私ハ決シテ此衆議院デ此聲ノ現ハレタト云フコトヲ無意味ノモノト思ヒマセヌ、幸ニ衆議院デ此聲ガ高調サレテ、而モ斯ウ云フコトハ國家ノ基礎ヲ危クスルモノデアアル、彼等自身、農民自身ヲ滅ボスモノデアアル、決シテ農民ヲ濟フ途デナイト云フコトガ明ニサレマシテ、ソ

コデ練リ上ゲラレタノガ、アノ政友會及民
政黨ノ決議案デアリマス、私ハ此ノ點ニ觸
レマシテ……

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

議論ヲ簡約ニスル爲ニ御案内デアリマセウ
ガ、決議案ノ要旨ヲ讀ミ上ゲタイト思ヒマ
ス、政友會ノ救済策ハ通貨流通ノ圓満、是
ガ一デアリマス、第二ハ農村其他ノ負債整
理、第三ハ公共事業ノ徹底的實施、第四ハ
農産物其他重要産業統制、此四ツデアリマ
ス、ソコデ民政黨ノ決議ハ一、金融ノ疏通、
二、負債ノ整理、三、生産物並ニ販賣ノ
統制、四、土木工事ノ普遍的實行、是デア
リマス、要スルニ少シモ變テ居リマセヌ、
斯ク行詰テ参リマス、所謂歩ムベキ途ハ
一ツデス、一ツモ變テ居リマセヌ、私ハ時
間ノ都合上多クノ言葉ヲ費スコトヲ遠慮イ
タシマス、ドウカ政府ニ於カレマシテハ、
衆議院ニ於テモ詳シク此意味合ヲ御話ガア
リマシタ、此意ノ存スル所ヲ御汲取アッテ、
サウシテ私ハ一日モ速ク臨時議會ヲ召集シ
テ、具體的ニ此案ノ解決ニ邁進サレムコト
ヲ切ニ望ンデ已マナイノデアリマス、承ハ
ル所ニ依リマス、我ガ陛下ニ於カセラレ
テモ深く農村問題ヲ御憂慮遊バサレマシテ
態、總理大臣、又農林大臣ヲ御召ニナタト
云フコトヲ承テ居リマス、此農村問題ノ解
決ハ總テ所謂中小商工業者ノ解決ニナルノ
デアリマス、總テ都市ノ問題ノ解決ニナル
ノデアリマス、私ハ農村ニ重點ヲ置イテ御
話シマシタケレドモ、今日困テ居ルモノハ
實ニ中小商工業者、農民ノミデアリマセ
ヌ、總テノ人ガ困テ居ル、行詰テ居ル、
併シ國民ノ多數ヲ占メテ居ル所ノ農村ヲ救
ヒ、農民ヲ救フコトニ依テ茲ニ私ハ日本ガ

更生ヲスルコトガ出來ルト深ク信ジテ居ル
ノデアリマス、私ハ前ニ述ベマシタ意味ニ
於キマシテ現内閣ヲ信賴シ、又實行力ヲ備
ヘタ内閣デアルト深ク信ジテ居リマス、決
シテ私ハ短命トハ認メマセヌ、議會ノ總テ
ガ與黨デアリマス、アノ無產黨ノ人スラア
ア云フヤウナ態度デアリマス、ドウカ御自
重御自愛下サイマシテ幕地ニ此難局ヲ救フ
コトニ御進ミアラムコトヲ切ニ望ンデ已ミ
マセヌ(拍手)

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ登壇
ヲ願ヒマス

〔男爵阪谷男爵君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷男爵君 本員ハ此豫算ニ對シ實
ニ斷腸ノ思ヲ以テ贊成スルモノデゴザイマ
ス、實ニ議會有テ以來四十餘年間最惡ノ歲
計デアアル、昭和七年度ノ歲計ハ非常ノ均衡
ヲ失シ、我邦歲計上ノ新例タル歳入補填公
債ヲ發行スルノ已ムヲ得ザルニ至リタノデ
アリマス、然カノミナラズ、此公債ハ内外
何レノ市場ニ於テモ募集ノ見込ナク、政府
ハ日本銀行條例並ニ兌換銀行券條例ニ改正
ヲ加ヘ、巨額ノ不換紙幣ヲ發行シテ日本銀
行ニ引受ケシムルモノデアリマシテ、公債
ノ性質上最惡ノモノト言ハナケレバナラ
ヌ、多年多大ノ歳計剩餘ヲ有シ、基礎ノ鞏
固ヲ以テ誇リトシタル我邦財政ノ斯ル不良
ノ状態ニ陥リタルコトハ、近年ニ於ケル歴
代内閣ノ不節制ナル濫費ト、歳計豫算上用
意周到ヲ缺キタル結果デアッテ、實ニ遺憾ノ
至リデアリマス、尙ホ一層今年度歳計ノ不
良ナルコトハ、七年度ニ於テ政府ガ新ニ計
畫セル公債發行高ハ殆ド七億圓デアリマシ
テ、其一箇年ノ利子ハ三千五百萬圓ヲ下リ
マセヌ、政府ハ此巨額ノ新公債元利償還ニ

要スル財源ニ付テハ、未ダ何等ノ計畫ヲ有
テ居ラナイノデアリマス、斯ノ如キ不良ナ
ル財政計畫ヨリ生ズル影響ハ、今後遠カ
ラズ一般經濟上、延テハ國民全部ノ頭ノ上
ニ落下シ來ルノデアッテ、今日ヨリ想像スル
モ實ニ寒心ニ堪ヘヌモノガゴザイマス、國
家ノ衰退イタシマスノ往々財政紊亂ニ其
端ヲ發シ、終ニ國威ヲ失墜シ亡國トナリタル
モノハ、古今餘リニ其實例ガ多イノデアリ
マス、或ハ援助ヲ國際聯盟ニ求ムルモノモ
アリ、或ハ債權國ニ鐵道、或ハ税關ノ管理
ヲ託スルモノモアリマス、霜ヲ履ンデ堅氷
至ルノ戒ハ賢明ナル國民ハ一日モ忘レテハ
ナリマセヌ、本員ハ切ニ明治大正兩天皇
ノ御稜威ニ依リ、築上ゲラレタ帝國今日ノ
世界の強國タルノ地位ヲ失墜セザルヤウ、
舉國一致深ク反省セムコトヲ望ムモノデア
リマス、幸ニ齋藤首相ハ過日本員ノ質問ニ
對シ、次ノ年度即チ昭和八年度ヨリ歳入出
ノ均衡ヲ回復スルコトヲ期スルト言明セラ
レタノデアリマシテ、本員ノ深ク満足シ、首
相ノ誠意ニ信賴スルモノデアリマス、大藏
省ノ仕事ハ人身ニ例ヘテ申シマスレバ、心
臟ヤ腸胃ノ如キモノデアリマシテ、若シ心
臟ヤ腸胃ガ不健康デアッタラバ、腦モ手足
モ十分活動ノ出來マセヌコトハ勿論デアリ
マス、來ル八年度ノ豫算ノ編成ニ當テハ、
各省大臣ハ大決心ヲ以テ大節減ヲ覺悟シ、
地方人民モ農民ト謂ハズ商工業者ト謂ハズ、
過大ノ要求ヲ政府ニ爲スコトナク、進ンデ
増稅ヲモ辭セズ、共ニ俱ニ首相ヲ助ケテ歳
計ノ均衡ヲ圖リ、財政ノ健康状態ヲ回復ス
ルコトニ力ムベキデアアル、本員ハ今日ヨリ
豫メ此事ヲ政府並ニ國民ニ切望イタシテ置
キマス(拍手)

○議長(公爵徳川家達君) 齋藤内閣總理大
臣

〔國務大臣子爵齋藤實君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵齋藤實君) 本日午前豫算
總會ニ於キマシテ、前田子爵ヨリ御質問ガ
アリマシタ點ニ付キマシテ、此機會ニ御答
ヘ致シタイト思ヒマス、農村ノ救済等ニ關
シ度ミノ貴族院ノ決議ニ付キマシテハ、昨
日衆議院ニ於ケル同様ノ決議ノ際申述ベマ
シタ通り、政府ハ成ルベク速ニ之ガ對策ヲ
樹テマスルコトニ努力イタシマス積リデゴ
ザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言者モナ
イト認メマスカラ、豫算案ニ付テ採決イタ
シタイト存ジマス、諸君ニ於テ御異議ガナ
ケレバ、先刻豫算委員長ノ報告セラレマシ
タ豫算案三件、一括シテ議題ト致シタイト
存ジマス豫算案全部、原案ニ同意ノ諸君ノ
起立ヲ請ヒマス

(起立者多數)

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマ
ス、議事ノ都合上四時半マデ休憩イタシマ
ス
午後三時二十一分休憩
午後四時三十三分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲ
シテ報告ヲ致サセマス
(瀨古書記官朗讀)

日本本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案
ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ
通知セリ
柳河軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債
發行ニ關スル法律案
兌換銀行券條例中改正法律案

日本銀行納付金法案

日本銀行參與會法案

資本逃避防止法案

昭和七年法律第一號中改正法律案

昭和七年一般會計歲出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案

昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案

國債ノ償額計算ニ關スル法律案

恩給ノ減額補給及停止ニ關スル法律案

造幣局資金拂出ニ關スル法律案

絲價安定融資擔保生絲買收法案

絲價安定融資損失善後處理法案

昭和七年度歲入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和七年各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

手形法案

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

關稅定率法中改正法律案可決報告書

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、關稅定率法中改正法律案、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案、右兩案ノ第一讀會ノ續ヲ開ク爲ニ、議事日程ノ追加ヲ致シタ

イト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス、委員長報告、兒玉伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十四日

委員長 伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年六月十四日

委員長 伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

○伯爵兒玉秀雄君 關稅定率法中改正法律案外一件ニ關スル特別委員會ノ經過竝ニ其結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去ル十一日ヨリ十四日マデ日曜日ニモ拘リマセズ、午前午後ニ互リ開會ヲ致シマシタ、政府ノ説明ヲ求メ、次デ二案ニ付テ質疑應答ヲ重ネテ慎重ニ審議ヲ盡シタ次第デアリマス、御承知ノ通り今回ノ關稅定率改正法律案ニ掲ゲラレマシタル品目ハ二十九ノ種目ニ互テ居リマス、可ナリ廣汎ニ互リマシテ其稅率ヲ改正セラルモノデアリマス、政府ハ是等品目ノ生産輸入及ビ需要供給ノ狀況等ヲ精査イタシマシテ、現行稅率ハ外國品ノ輸入ヲ抑制シ内地産業ヲ保護スル點ニ於テ遺憾少カラズトナシテ、取敢ズ

之ヲ改正スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、御承知ノ通り現今ノ輸入稅表中ニハ從價稅率ト從量稅率トヲ併用シテ居リマス、昨年來我國ノ外國爲替相場ノ低落ニ基キマシテ、輸入品ノ價格ハ自然ニ騰貴ノ傾向ヲ來シマシタルガ爲ニ、從價稅率ニ依ル課稅金額ガ増加セラレマシタルニモ拘ラズ、從量稅率ニ依ル課稅ハ從來トノ變化ガ無イガ爲ニ、茲ニ課稅ノ調和ヲ害スルノ結果ヲ來シタノデアリマス、茲ニ於キマシテ、當分ノ内相當增率ノ必要ヲ認メテ、爲替相場其他ノ事情ヲ參酌イタシマシテ、大體三割五分程度ヲ適當ト認メテ、之ニ依テ調節ヲ圖ラムトシタノデアリマス、本案ハ國民經濟ニ直接重大ナル影響ヲ及ボスベキ重大ナル案件デモアリ、且ハ衆議院ニ於テ殆ど全會一致ヲ以テ議決シタル關係モアリマス、今ノデ、旁、兩案ニ互リ各品目ニ付キ詳細ナル質問應答ガ重ネラレマシタ、其細目ニ涉リマシテハ之ヲ速記録ニ讓ルコトニ致シマシテ、其重要ナル二三點ニ付テ御紹介ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本案ノ如キ産業上竝ニ國民生活ニ重大ナル關係ヲ有スル議案ヲ、短期ノ臨時議會ニ何故ニ出シタルアルカ、又爲替相場ノ不安定ノ今日ニ、從量稅三割五分ヲ増徴スル理由ハ如何デアリカ、政府ハ關稅增率ハ物價低落ノ爲ニ苦シミツツアル國民ノ生活ヲ救済スルノ所以デアリ、又各國ノ關稅政策ニ對峙シテ、國內産業ノ窮地ヨリ之ヲ救済スルノ方策デアリガ故ニ、一日早ケレバ一日ノ利益アリト信ズル、臨時議會ニ提出スル所以ノモノモ茲ニ存スルノデアリ、尙ホ爲替相場ノ安定ヲ俟テ關稅ヲ改正スルナレバ、徒ニ時機

ヲ失スルノ虞レアリト説明セラレテ、尙ホ若シ爲替相場ニ急激ナル變動ヲ來タスベキ場合ニ於キマシテハ、政府ハ更ニ稅率ヲ改正スルノ用意ガアルト云フ説明デアリマシタ、又一委員ヨリハ、只今ノ趣旨トハ反對ニ、列國ハ競テ關稅障壁ヲ設ケテ、單リ日本ハ立チ遅レテ居ル傾キガアル、臨時議會ヲ開イテ此關稅問題ヲ解決スルハ當然デア

ル、更ニ又大同ニ於テ廣汎ニ互テ關稅ノ改正ノ意思アリヤト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ更ニ慎重ナル調査ヲ遂ゲテ改正案ヲ提出スルノ準備ガアルト言明セラレテ居リマス、又國防上ノ見地カラ見マスレバ、低廉ナル物資ノ購入ヲ必要トスルノガ原則デア

ルケレドモ、一面戰時ニ於キマスル國家總動員ノ關係ヨリ見マスルナラバ、製鐵業ノ如キハ最重要ナル起業デアリ、鐵ソレ自身ハ勿論ノコト、是ヨリ生ズル所ノ副產品ニ付キマシテモ、是非トモ自給自足ノ國策ヲ立テナケレバナラズト述ベテ居リマス、又國內産業ノ保護獎勵竝ニ非常時ニ對スル歳入關係ニ依リテ、本案ハ臨時議會ニ提案スル已ムヲ得ザル事情ガアルト云フ事柄ヲ述ベテ政府ノ所信ヲ明カニシテ居リマス、委員會ニ於キマスル質問ノ中心ハ從量稅率増稅竝ニ鐵鐵問題ニ集中セラレタノデアリマス、鐵鐵ニ關係イタシマシテハ、印度鐵鐵ノ關係、印度ニ於ケル製鐵業ニ關スル邦人投資ノ始末、關稅增徴ノ日用品ニ及ボスベキ影響、輸入貿易ニ障礙ヲ及ボスコトハナイノデアリカ、又廢鐵輸入ノ増加ヲ促ス虞レガナイノデアリカ、又關稅引上ゲハ印度ノ報復政策ヲ導クノ憂ハナイノデアリカノ如キ、各般ノ問題ニ互リマシテ専門的ニ微細ナ説明デ重ネラレタノデアリマス、又

木材ニ關係イタシマシテモ詳細ナル質問ガアリ、殊ニ南洋材ノ處理方ニ付キマシテ政府ノ所信ニ質シ、又小麦ニ付テ自給自足ノ方針アリヤ否ヤ等ノ質問ガ重ネラレタノデアリマス、尙ホ政府ハ衆議院ニ於キマシテ製鐵事業ノ整理並ニ合理化ニ關スル聲明ヲ爲シ、又衆議院ニ於キマシテ關稅ノ完璧殊ニ從量稅ノ改正ニ關スル決議ヲ爲シタニ付テ、政府ハ之ヲ十分ニ尊重スル意味ノ言明ヲ爲シテ居リマス、最後ニ鐵ノ政策ニ關係イタシマシテ鐵國策ノ樹立ノ必要ヲ述ベ、殊ニ滿鮮ヲ包含シタル所ノ新シキ鐵ニ對スル國策ノ樹立ノ必要ニ關係イタシマシテ、特ニ總理大臣ノ出席ヲ求メテ其所信ヲ質シタノデアリマス、ソレニ對シマシテ總理大臣ハ我國ノ製鐵事業ガ滿洲ニ於ケル事業等ヲ除外シテハ、到底確乎タル基礎ノ上ニ立ツコトハ出來ナイト云フコトハ誠ニ御説ノ通りデアリマス、最近ノ滿洲ノ情勢ニ鑑ミマシテ將來鐵及ビ之ニ附隨スル産業ノ國策ヲ立ツルコトニ付テハ、十分努力イタシタイモノデアルト云フ深切ナル言明ガアッタノデアリマス、次イデ質問ヲ終了イタシマシテ討論ニ移リマシタ、本案ノ全部ニ對シテハ必シモ誰モ賛成スベキモノデハナイガ、齋藤總理大臣ガ老軀ヲ提ゲテ此難局ニ立タレタコトニ付テ衷心ヨリ敬意ヲ表シ、齋藤總理ニ對シテ明ルク正シイ政治ヲ希望スル意味ニ於テ本案ニ對シテ二個ノ希望條件ヲ附シテ本案ニ同意ヲサレタイト云フ意見ノ陳述ガゴザイマシタ、其希望決議ハ

一、本案ハ此際暫定的ニ承認スルモ政府ハ本案實施ノ狀況ニ鑑ミ將來一層ノ完璧ヲ期スルハ勿論從量稅目ニ付完全ナル調査ヲ遂ゲ更ニ稅率改正案ヲ成ルヘク速ニ議會ニ提出スヘシ
二、現在製鐵業ノ資本ヲ整理シ及事業ノ合理化ヲ圖リ以テ生産費ノ低減ヲ期スベシ
此二ツノ希望條件ヲ述ベラレタノデアリマス、此二個ノ希望決議ニ對シマシテハ、大藏大臣並ニ商工大臣ヨリ誠意實現ヲ期スベキ旨深切ナル言明ガゴザイマシタノデゴザイマス、他ノ委員ヨリモ略ボ同様ノ意見ノ陳述ガゴザイマシテ、討論ヲ終結イタシマシタ、採決ニ入りマシタガ、採決ノ場合ニ於キマシテ、全會一致兩案共原案ニ可決シテ、之ニ附帶決議ヲ附スベキモノナリト決定シタノデアリマス、之ヲ以テ本特別委員會ノ報告ヲ終リマス
○議長(公爵德川家達君) 溝口伯爵ヨリ質問ノ通告ヲ得マシタカラ發言ヲ許シマス、溝口伯爵
○伯爵溝口直亮君 極メテ簡單ナルコトデゴザイマスカラシテ、議席ニ於テ發言イタシタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス
○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス
○伯爵溝口直亮君 私ハ此機會ニ於キマシテ産業國策ニ關シマシテ、政府ノ所信ヲ伺ヒタイト存ジマス、勿論從來モ産業國策ノアツタコトハ申上ゲルマデモゴザイマセヌケレドモ、今日ノ狀勢ハ非常ナル變化ヲ起シテ居リマス、世界ニ於ケル國際經濟關係ガ大イナル變更ヲ見マシタノミナラズ、近クハ滿蒙ノ形勢ハ非常ナル變化ヲ生ジテ居リマス、從テ此際現下ノ狀勢ニ適應スル産業國策、殊ニ鐵工業ニ關スル國策ヲ樹立スルコトハ、最モ國家百年ノ大計トシテ速ニ

考慮實行スベキコトナリト確信スル所デゴザイマス、政府ハ之ニ關シテ如何ナル信念ト覺悟ヲ有セラルルカ、此機會ニ於テ其所信ヲ伺ヒタイト存ジマス
(國務大臣子爵齋藤實君演壇ニ登ル)
○國務大臣(子爵齋藤實君) 唯今溝口伯爵ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、政府ハ日本及滿洲ノ産業政策ニ付キマシテ、良ク關聯シマシタル政策ヲ立ツベキデアルト考ヘテ居リマス、殊ニ製鐵業ニ付キマシテハ一貫ノ國策ヲ樹テナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマスルカラ、此方針ヲ以テマシテ國策ヲ樹テタイト云フ考ヲ持テ居リマス、之ヲ以テ御答ヲ致シマス
○議長(公爵德川家達君) 別段發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、採決ニ付キ御諮リヲ致シマス、只今兒玉特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
(起立者多數)
○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ勳議ニ御異存ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 兩案トモ第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス
(潮古書記官朗讀)
昭和七年六月十四日
內閣總理大臣 齋藤 實
貴族院議長公爵德川家達殿
通牒
本月十五日貴族院ニ於テ帝國議會閉院式執行被 仰出候
○議長(公爵德川家達君) 是ニテ散會イタシマス
午後四時五十三分散會

